

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-189）」

2. 日時：令和4年11月14日（月） 17時10分～17時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他13名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000069.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html)
- ・ 令和4年11月11日  
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	どこを開始しましたと規制庁シミズです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日のヒアリングは令和2年12月24日に申請があった設工認申請について、資料を基に次ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:17	まずは規制庁側の出席者を紹介しますと本庁会議室からコサクタジリタカナシフジワラ。
0:00:26	セトガワシミズとその他WEBからカミデキシノ。
0:00:31	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介をし、議題の構成の説明をした上で資料の説明を開始してください。
0:00:41	はい、分岐面ナカハマでございます。
0:00:45	日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:00:49	ムラヤマ。
0:00:50	サトウ。
0:00:52	タカハシ。
0:00:53	イシハラ。
0:00:57	違わん
0:00:58	いや、何かこれ、シミズ。
0:01:03	ホシノキクチヨシダ。
0:01:07	ナカムラ。
0:01:09	オオクボ社じゃ、
0:01:12	ナカハマ以上となります。
0:01:15	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、資料といたしましては共通個別の書き分け、
0:01:22	及び材料構造における類型化の整理となっております。
0:01:29	こちらからご説明するものですね、まず耐震に関わるですね
0:01:36	資料の書き分けにつきましてですね、ご説明を差し上げたいと思いますけれどもよろしいでしょうか。
0:01:43	すいません、長カミデですけど、無理やり詰め込んだ話なので最後だと思ってたんですが、
0:01:50	日本原電車ですいません調整できてなくて、はい。一番最後です。はい。
0:02:01	はい。甲斐さんすいませんイシハラですということで、予定通り、共通個別の勝負からいきますんで、よろしく願います。
0:02:12	願います。
0:02:13	茶谷です。

0:02:19	はい。画面が切りが切り替わりましたねすみません日本原燃石田でございます。
0:02:23	では共通項目と個別項目の掛け金についてということで11月11日資料を再度提出をさせていただきました。
0:02:32	すみません先にお詫びを申し上げます。色がいろいろついてますけど、最後に黒くしてくれるものだと思ってたんですけど、次中途半端に色が変わることになってすみませんでした。
0:02:42	下線を引いてあるところが変更点ですということです。はい。
0:02:47	す。2ページのところで前回から修正したの基本設計方針の第1章の項目に抜けがないようにということで、項目の名称を合わせたりということで自然現象等とか、
0:03:00	地盤とかあの順番も含めて整理をさせていただきましたというのが①番のところの修正でございます。②番と①番②番のところは①番との差別化がわかるように、なるべくわかりやすいようにということで、
0:03:14	下線が引いてます下表表の中にかぎ括弧で示してる内容を、こういうことがちゃんと具体的な共通項目の展開として示されますよと、いうことがわかるように、記載を拡充してございます。
0:03:28	これによって①番と②番の差別化差が出るということでございます。
0:03:33	はい。あと、2ページの表の方は、前回ご説明しました抜けがないようにということで再度チェックをして、必要な項目を追加をさせていただきました。
0:03:44	右下3ページですけども緑が意味がなくてこれ黒にして河川にするつもりでしたが3番の方に、SA関係のやつも入れて全体の供給的な流れがよりわかるように、明確になるように分類をさせていただきました。
0:04:00	③もともと前回もお話した通り共通的な設計方針第1章での設計方針を達成するために必要な個別設備の設計ということで、
0:04:12	2章と一緒に紐づけがなされるということで第1章には、第2章に關係する設備の大枠が書かれた上で、それらの設備の設計方針については第2章はどどこに示すと。
0:04:25	いう紐付けを展開されるもののグルーピングになります。
0:04:28	というのは、Bも衛生も同じような展開をされますので臨界だったり閉じ込めだったりというところで、同じように展開をさせていただきましたということでございます。
0:04:40	はい。SAをなぜこの枠に入れたかについては緑になってるのでわかりやすくなっちゃってますけど下線を引いた緑の色の部分で、なぜここに入れるかの考え方を追加をさせていただいてございます。
0:04:55	あと3ページの一番下にはSAのうち、

0:04:59	SFPのやつですね、が枠外になっているその中に入ってない理由を追加をさせていただいてございます。
0:05:06	はい。
0:05:07	この3、3ページの9.1、安全機能を有する施設の中で出てきます。4.1 敬三設備、あと安全保護回路、
0:05:18	制御室に対して、第1章から第2章に展開するための紐付けが、現状の記載では足りてないところがありますので、拡充しますという意味で、4ページの記載への案を、
0:05:30	示させていただいてございます。
0:05:32	前回から追加をしてるのが、若干、9と濃い青の下線部分とあと、緑の下線部分になります。
0:05:42	安全機能を有する施設の中での
0:05:48	設計基準事故とか運転時の異常な過渡変化に関係する紐づけとして、計測制御安全保護回路、制御室がそれぞれひもつきますよと。
0:05:58	というのが4ページの上の部分でございます。
0:06:02	0
0:06:03	なお書きの後、安全機能を有する施設、9.1の中に入ってまず誤操作の防止に関する安全保護火曜と制御室、これが第2章に示されますがこれの第1章までの
0:06:17	関係性を示す文章ということで追加をさせていただくということで整理をさせていただきました。
0:06:24	はい。
0:06:25	6ページ以降の表でございますが先ほどあった分類額に従ってどういう分類になるかというのを、第1章がもそうですし、
0:06:36	第2章側も、第2章が出てくるのが、8ページぐらいから出てきますけど第2章側の方も、それぞれ展開をさせていただいてございます。
0:06:51	若干ここで、すみません、やったはずのところうまく捌けてなくて恐縮でございます。8ページですね（ア）へのSF関係のところから下ずっと個別のやつが並んでるんですが、
0:07:06	個別の項目のところは、本当はすみません私の思いとしては9ページのような書き方をしたかった。
0:07:12	ところがちょっと若干うまく掲載が整えられてませんが第2章の内に当たってそれが第1章どっか飛んでくるのかという紐付けをしたかったところが若干すみません、N9ページのように、
0:07:22	8ページになってないところは、速やかに修正をして提出をさせていただきたいと思います。
0:07:28	説明は以上になります。
0:07:31	はい、市長田尻です。

0:07:34	ちょっと最初の方のページからで、ちょっと若干復習の意味を込めてなんですけど2ページ3ページのところで①②③とまでいて、
0:07:41	①②と③の関係なんですけど、
0:07:45	例えば今2ページのところで、ここでの火災等による損傷の防止のところで火災防護設備は、010になるから、②のところに行ってで、③、
0:07:55	横尾にはなくて、ただ溢水とかで言うと溢水防護設備とかに関しては③でっていう形になったりはするんですけど、
0:08:01	②と③の関係と火災防護設備Bの、ここに配置されている感知消火とかもここに
0:08:16	はい、日本原燃石田でございます。そこがですね性は、すいません最後まで私も悩んだところではあってですね。
0:08:24	③番を基本的に第1章の共通項目で示す設計方針の、具体的にそれを展開するために必要な設備が出てきますので、第1章で例えばこの設計をするためにこういう設備が入りますと、
0:08:37	いうところが出てくれば、③番の形態になります。当然ながらその具体の設計は第2章に示しますということになります。溢水とか化学薬品の漏えい等を防護設備については安全機能を損なわないためにこういう設備をつける、要は、溢水防護設備のようなものを設置して、
0:08:56	その機能を損なわないようにしますよというのが第1章に出てきて、その水防設備の具体の設計は第2章のどこどこに示すという関係が成立するかなということで、2種、
0:09:08	③番の分類させていただきました。
0:09:11	最後まで悩んだというのは、感知消火も同じような分類だろうといえれば同じような分類に行けるような気もするんですが、いわゆる感知消火火災構築物、全体としての方針として、ある程度必要な共通的な方針を、
0:09:27	第1章で書き切ってしまう部分があって、第2章の第1章の市差別化が、なかなか現状の記載では難しいかなと。③番だと言い切るには若干、
0:09:37	ちょっとグルーピングが難しいということで、最後まで悩んで②番のグルーピングにさせていただきました。あくまで第1章で言ってる、感知消火、火災防護短時間耐火とかの設計を、
0:09:49	具体的に展開してるものを、紐づけてどこどこに示すというよりはそれを共通方針を具体化したものが第1章にいるんだという意味では②番のグループということで、最終的には決断をして、
0:10:02	②番に入れさせていただきました。以上です。
0:10:04	京谷です。
0:10:06	これ、②番に行った場合と③番だと書き方が結構変わるもんじゃ今のお話だと、どっちに置くかというところではあると思うんですけど、火災

	の条文に関しても第1章のところでは火災区域設定しながらやっていきましようねって発生防止感知消火影響軽減やりましようねって言って、
0:10:23	こんな感じ消火設備設けましようねみたいな形の流れにはなっていると は思っているんですけど。
0:10:29	ここの表だけの、ここの②③の分類で、どっちだって別に丸々3回とけ ばっていうところもあるんですけどでの分類によって基本設計方針の方 が結構影響受けるものでしたっけ。
0:10:42	はい。日本原燃石田でございます。②番のグループだと私の今考えてる のは、共通的な方針の中にある程度個別設備の設計の
0:10:54	共通的に守らなきゃいけない、今性能っていうんですかね。ていうのを ある程度書いてあげてその具体化をするのが第2章という、関係になる のが②番のグループ。
0:11:06	③番のグループは、もうちょっと言い方悪いですけどほぼ丸投げに近い 状態、こういうものをつけますよと言いながらも具体はそっちを見てく ださいみたいな、グルーピングかなと思ってました。笠井はどちらかとい うと、一緒に小、
0:11:20	かなり悩んで、書き分けたところも楠もあったので、どちらかという と②番のグループかなと悩んだところでした。書き方が具体的に何か変わ るかっていうと第1章にどこまでその個別設備に求めるべき。
0:11:35	設計の共通的な方針を書くかってところで、若干経路が分かれるかなと 思っていました。以上です。
0:11:41	古作です。
0:11:44	石原さんの悩んでいるところはよく理解をし下で、火災防護についてわ あ、
0:11:53	実用炉の火災防護審査基準を踏まえながら、許可でも本文事項として結 構書き下して、
0:12:02	それを共通の基本設計方針で落とし込んでいるので、
0:12:08	第2章側に振ってるって部分が実はあんまりないんですという古藤 は理解をするんですけど。
0:12:15	あんまりないんですっていうのであれば、幾らかは売ってるのであれば、 ③の部分もあるよと。
0:12:22	いうことでいいんじゃないかって気もするんですけどないんですしたっ け。
0:12:28	はい。日本原燃資料でございます。おっしゃっていただいたように第1 章第2章書き分ける時に、私の精査的には、第2章に預けた部分も確か にあります。

0:12:39	間ちいいい設備を設けるとかですわそういう、かつ、感知設備に対する求める共通的な本当の大枠の方針だけを変えて具体を第2章に預けるといいう整備機を、
0:12:51	期待をするような仕組みには確かしたはずなので、そういう意味では、何も預けてないわけではないと思ってます。はい。はい、古作です。であれば、その部分について、
0:13:06	失礼しました。その部分についてですわ第1章で第2章側に飛ばすような、定型的な文言井出②でもあるし③でもあるしと。
0:13:16	いうふうに整理をされたらいいんじゃないかなと思ったんですけどいかがですか。
0:13:21	はい。日本原燃石田でございますはい。おっしゃっていただいているのは実にありだと思えますはい。悩みながら、そういうパターンもしたいなと思って、結局、
0:13:33	行かずに終わってしまったので、はい。ちょっとその整理でさせていただきたいと思えます。以上です。
0:13:38	はい。補足です。やっぱりこういうふうな清梨衣の表を見てみると、
0:13:44	実情がわかるにしても、
0:13:47	同じような申請書構成であるものについて、これはこれは工程を分けるとやっぱりわかりにくいなど。
0:13:55	いうところがあるんで多少の程度感の違いはあれど、セイリガクとしては同じにするということで、対応いただけるということで理解をしました。
0:14:06	館さん、ついてください。
0:14:08	規制庁度率で、
0:14:11	ちょっと4ページもあるんですけど、先に軽い方を少し行かせていただいて、5ページのところ⑤のところ設備共通的な設計方針というのがいて不法侵入は、
0:14:21	設計方針とかでPT側に飛ばしてるような、确实保護規定の方に飛ばすような形になってるんでまだわかるんですけど、安全避難通路等が今回下線で追加されるような形になっていて、
0:14:31	あと避難通路等の照明設備とかって何か電気設備にぶら下がって存在してたような気もするんですけど、安全避難通路で、建屋っていう意味でも建屋は存在してるような気がするんですけど。
0:14:41	この個別設備の展開はないっていうのと安全避難通路等々の関係を確認しておきたいんですけど。
0:14:49	はい。日本原燃車でございます。ここも非常に、すいません、悩みました。

0:14:55	安全避難通路としての設計の具体のツールを設ける答えはどこかという と、おっしゃる通り建屋ですし、安全避難通路に設ける照明の具体の設 計は照明で出てきます。
0:15:08	ただ安全避難通路として求めるべき設計方針でほとんどもう第1章で書 き切ってる。
0:15:15	と思ってまして、じゃあ設備って何言ったらこういう設備を設けます と言ってるだけであんまり設計を展開してるんでしょうか。はい。すい ません。単純にですね012も入れたらっていうだけなんです。はい。
0:15:30	はい。結局第2章の最初2、列記するかしないかだけしないってことな くていいんじゃないっていうだけなんですよ。不法侵入の方は、列記さ れても、
0:15:43	その中で具体には水2PP規定の方での審査に移っているので、そうい う意味であれば第1章で完全に振っちゃっていて、個別の審査をしな い。
0:15:53	体系ですっていう。
0:15:55	色は形なのかなと思ったんですけどいかがですかね。
0:16:00	はい、日本西田でございます。はい。悩んだのは①番が⑤わかりまし た。①番で全然ありだと思えますのでちょっとその整理で進めさせてい ただいて、すいません。はい。
0:16:12	はい規制庁谷井ですよろしくお願ひします。ぜひ、4ページなんですけ ど、軽くは説明された気がしつつなんですけど、最終的に計装安全北海 道請求書
0:16:22	とこれはわかりつつなんですけど、
0:16:24	ここうに至る過程としては一応、
0:16:27	全条文といえば全部项目的かわかんないんですけどそこんところで許可の基 本設計方針にうたってるやつも含めた上でどこまで行うべきという施設 の条文のところ、第1章で謳うべきかというのを整理した上でここに 至ったんだと思うんですけどその過程をもう少し説明してもらっていい ですか。
0:16:43	はい。二本木石田でございます。はい。先ほど6ページ以降の表の中で 個別全体の条文なり全体の関係性を見た上で、安全機能を有する施設、
0:16:56	の、今回特に
0:17:00	8ページのHとかですね、直接的に結びつかなくてどこかに入れて展開 をしないといけないこういうものが一番抜けが生じやすいのでというこ とで全体を見ながら、
0:17:12	それと紐づく人は誰という整理をさせていただいたと思ってますので、 全体を見ながら必要な展開をしたということで、一対一になってるとこ ろは、わかりやすく



0:17:25	一番左側と右側真ん中ですねが、要求してることに、差分がないよねっていうのを当然見た上で、抜け抜けというか、展開が足りないのであれば、どこかに入れるということも含めて見た結果が、
0:17:38	今の結論でございます。以上です。
0:17:42	はい、規制庁館です。
0:17:45	ちょ、ちょっとどこまでいえるかっていうところあるんですけど、基本的には8ページのところの途中までのやつも大体大小の紐づく業務というのも決まっていますから安全崩壊とか請求書とか計測とかの話があってで、
0:17:59	廃棄施設はとじ込みぶら下がっていて、関係も一緒ですね、代車とかいう上がってるやつのところ五つで、9ページの後ろの方のやつらをどうしたかっていうところからはぶら下げるまでもないっていう判断で多分最後の方の四つぐらいのやつが、
0:18:15	要は第1章っていう意味でいうと基本設計方針この条文って感じでぶら下がりづらい奴らで安全機能を有する施設と重大事故等対処してくださいと言ってると思ってるんですけど。
0:18:25	はい、宮城西田でございます。はい。前々からその議論だったと思います
0:18:31	技術基準の要求であったりとかの内容であったりというのを見ながら、明らかにこういう設備を設けるということが、要求時要求として我々が許可の中で整理した結果であって、
0:18:44	それが安全機能を有する施設であったり、重大事故等対設備の共通的な方針を受けて、設計が展開できる、することによってすることができるのと。
0:18:55	いう枠、いわゆる①番の枠に入ると、いうことを見て、この整理の仕方結論に至ったということでございます。
0:19:04	影響度です。
0:19:06	悩ましいところではあるんですけどものすごい広くやったら別に電源だって通信だって入れようと思ってる場所ではあると思ってるんですけど実際の事故対象という意味でいうと、情報を把握しつつ、制御系を動かしたり安全北海道も貸したり数っていうのが一応事故対象っていう形で共通的に読み込むようなところになっていてまあ、
0:19:23	あの、何か別途ご相談とかいるけど間置いとくとして、一応事故対策の直接的な絡みという意味で選ばれていった形ですからさっき言った附属品と言うべきなのか。
0:19:33	そこで使ってる電源とか通信とかっていうのは、一応個別設備として安全という推薦全体にわかるけど、今の事故対象とか共通的なやつとして、

0:19:44	ぶら下げる必要はないという整理をしたということですかね。はい、西田でございます。おっしゃっていただいた通りでございます紐付けするかしないかも含めて、
0:19:55	整理をした結果として、個別で紐づける必要はないだろうと、共通的な方針のもとに限界をしているという、整理ができるんじゃないかということで、結論付けたところでございました。以上です
0:20:08	長館です。なんで個別の設備としてなんで9ポツ1の安全機能を有する施設で、施設共通の要求事項部分だけにぶら下がる形でもおかしくないだろうと今整理をされているということで一応理解はいたしました。
0:20:23	小山理事、すいませんこの点は他の方から何かあればお願いします。
0:20:30	規制庁コサクですけど。
0:20:34	うん。
0:20:38	全般能。
0:20:40	表現で読めるので個別書きませんという、
0:20:44	ことのようなんですけど。
0:20:49	ちょっとやっぱりよくわかんないのは、一番わかりやすいところという と臨界。
0:20:56	です。
0:20:57	設計基準事故でもう臨界にたてついで対応はあったと思うんですけど、 そういう小部通の対応っていうのが、
0:21:07	この(1)のところで読めなくていいのか、(1)の対応としての基本設計方針の場所いう。
0:21:13	安全機能を有する施設なのか、安重なのかわかりませんが、
0:21:19	になくて本当に読めるっていえるのかってのがよくわかんなかったんですけど、 どうなってるんでしょう。
0:21:32	はい。日本原燃石田でございます。
0:21:35	おっしゃっている間の委員会の設計は一番上の(1)番のところで、展開を されていてとはいえこの中にもう、臨界の拡大防止いわゆるへの事故対象の ものが含まれていると。
0:21:51	いうところなんですけど結局
0:21:55	いわゆる臨界検知飯尾の警報であったり、ガドリの注入みたいな、臨界事故に 対処するための設備っていうのが、
0:22:05	安全保護回路であったり、計装の設備の中に含まれているので、そちらで 展開できるんじゃないかと、具はそちらで持っているんで、それをHとひも づけることによって、必要なものは、
0:22:18	さばけてっていうのが現状の整理の結果で、
0:22:23	古作です。それがですね、何で計装だけなのと。

0:22:28	要はその信号系だkはあげるけど、その信号で動くものについては事故対象として、
0:22:35	個別に
0:22:37	明示する必要はないって言ってる意味がよくわかんないんですけど。
0:22:43	今言われてるのは、いわゆる外貨取りの注入系みたいなものの安全法回路は、安全多かろうと一致を紐付けて展開をしているのに、
0:22:55	嚢胞改良によって出てくる、注入するガドリの系統とか、そういうのがひもづかないっていうのはなぜかということ。
0:23:05	コサクですね。
0:23:07	さらに言うところに関して、
0:23:09	SAについてはどう整理しましたっていうことの対応関係で整合するようにしてねと言ったんですけど。
0:23:16	それも含めよくわかんないですよ。
0:23:27	はい。そうですねそう言われると、
0:23:35	委員会のところが一番抜けてますねそう言われると確かに、例えば、何ページだ。
0:23:42	3ページの一番上の1ポツでいくと、SA側了解施設の緊急供給系がきて、
0:23:52	ベースを、が来て、完全北海道がいてという流れになっていてここまでが
0:23:59	現地して押さえ込むっていうお話なんですけどそれに匹敵する。
0:24:03	D側がいるのかというと安全崩壊をどう考えるけど、それ以外に関係するものないじゃんっていう
0:24:11	これも緊急供給系がいるんだからそれがひもづかないと整理がおかしいだろうというのはおっしゃる通り、
0:24:18	ちょっとそこは、もう一度、すみません、検討します。はい。
0:24:23	はい。コサクです。そうですね。まず、今言われた3ページの1ポツのところdが書き足りてないと。
0:24:30	いうのがあって、ここで書き切っちゃってるカラー括弧1のところとの紐付けなくていいだろうっていうふうに思っちゃってるんですけど。
0:24:40	でも
0:24:42	トータルとして評価。
0:24:45	下、
0:24:47	SAの有効性評価だったり、DBAの自己評価だったり。
0:24:51	いうものとの対応関係はやっぱり、
0:24:55	許可のその部分を受けた方針と紐づいてないと。

0:24:59	視点漏れを起こしてやしないかという気がするんです。実態上はその許可の中で、それぞれの
0:25:09	設計方針に反映されてはいるんですけど、
0:25:12	とはいってもう許可でも並行して書いてあるし、ここでの基本設計方針を並行して書くと。
0:25:19	いうのである。
0:25:22	のであれば、ちゃんとその関係性を明確にした方がいいんじゃないのかっていうのが、私の
0:25:29	前回コメントした趣旨。
0:25:31	なんですけど、
0:25:35	はい、与儀西田でございますそういう意味でいくと私自身が多分コサクさんの指摘を、
0:25:41	100%理解できてなかったのが、結果こうなった気がしますので今のお話を受けて、理解をしたつもりでございますそういった、S A Pの関係も含めてこうやって、
0:25:54	表の中で一つにまとめて書いたことで、全体の紐づけなり、整合性っていうのが見えてくる。
0:26:02	見えてきたに直してないっていう点で、おかしいんですけど、そこも含めて見えるようになってきたと思うので、そういう意味で、もう一度整理を追加でやりたいと思います。以上です。
0:26:17	はい。補足ですよろしく申し上げます。それで雄踏、S Aの方ですけど、10ページの第38条で言えば、第1章の1ポツに
0:26:30	9ポツ2の、
0:26:32	S Aと、
0:26:34	いうところを書いてあるのは、結局紐付けましょうということと言われたんだと思って。
0:26:40	いたんです。これ、②ってなってますけど、
0:26:45	②、
0:26:46	具体化をする、そうですね。
0:26:51	ていうところでも、DBの方で
0:26:55	よく整理をすると良いのかなあという、ただここだと9ポツ1も入るんじゃないかねっていうこと。
0:27:01	ですかね。
0:27:04	はい。今村さん、DB側の38条だということじゃないですけど、梅川です。はい。はい。
0:27:12	(1)のところで今日出てるものがそういう意味では足りない部分があるかもしれないでそこをちょっとS A側の整理等品、整合性を考えた上

	で、それぞれ比較しながら、抜けがないように展開をしたいと思います。
0:27:28	はいコサクですよろしくお願いします。
0:27:33	清塩谷です。ちなみにちょっと頭認識をしておきたいんですけど、今の整理で実際の対処の部分というか受けろとか以外の部分の実際に動くところの部分も入れ込むものとしていくとき、
0:27:45	大小部分の書き方って今頭ん中にイメージありますか。
0:27:51	はい。与儀伊勢でございます。
0:27:54	正直あんまり具体的にどうしようかってないです。もうちょっと考えて、紐付けした上で考えて早急に答えを出したいと思います。
0:28:03	古作ですと品というわけでもないんですけど、
0:28:08	4 ページ今考えてるものについては書いてあるじゃないですか。
0:28:13	なんですけど、
0:28:14	結局は、主語 2、後ろで書いてあるものを書いてあるだけであって、何の説明もなってないんですよ。はい。これわざわざ個別に書かなくても、
0:28:26	加藤事項で使う設備については、
0:28:31	第 2 章の何とか何とか何とかと列挙すれば済むんですよ。
0:28:37	はい。
0:28:38	その方が何でそれを書いているのかも意味も書いてあるしっていうことであって、
0:28:42	一つ一つ書く必要ないので、そういったところで、文章を考えてもらったらいいかなと思います。
0:28:49	はい、わかりましたありがとうございます。
0:29:00	成長梶原です。
0:29:03	前々回ぐらいのヒアリングで確認させていただいた、
0:29:09	監視測定の部分なので、ページが、
0:29:12	9 ページのところになると思うんですけど、49 条のところの前、1 回前の資料提出後、監視設備のところの、
0:29:24	炉の一般構造に記載した事項のところには DB 性が書いてあって、
0:29:30	前回先のところの記載にも矢印あれですけど、9 ポツ 1 と 9 ポツ 2 が書いてあったんですけど、今回の資料で、
0:29:39	以西だけになったっていうのは何、何でなんですかねとか 49 条だからってことなんでしょうか。ちなみに、許可で聞いている監視設備という
0:29:50	24 条でしたっけ、DB の方の分ってどこに行っちゃったのかを教えて欲しいんですけど。

0:29:55	はい。日本原燃瀬谷でございます。
0:29:58	これにつきましてははですね、私両方書いてある消されちゃったので、説明してもらいます。はい。
0:30:05	消した人を説明してください。
0:30:13	表現のシミズです。
0:30:15	すいませんえーとですね、横野条文 49 条ということですね、すいませんちょっと考えがちょっと足りなかったんですけどちょっとPの加瀬設備から、
0:30:26	DBの記載を消したんですけども、確かにおっしゃる通り、記載として消すのはですねやっぱり、
0:30:32	よろしくないのですいません 21 条 49 条をちょっとまとめる形でちょっとDBの話も記載を戻したいと思います。
0:30:41	清町の藤原です。前回の資料提出だと、
0:30:47	石原さんおっしゃったように両方もがこの 49 条のところに書かれてて、前の前のヒアリングだと、別にDSAを綺麗に分けることなくただ取りこぼしがないようにちゃんと整理してねっていう話だったので、
0:30:59	整理の仕方おまかせしますけど、今だとやっぱり許可の時に聞いているDBの方の監視設備という中、中身がちょっと、
0:31:07	ちゃんと整理するのがわかんない状況になっちゃってるので、きちんとその辺取りこぼしがないように整理をするようにお願いします。
0:31:14	私からは以上です。コサクですちょっと補足というか、確認というかですけど、これ条文の許可等、
0:31:24	認可の方で、条文が違って、それでだまされたっていうことだと思うんですけど、
0:31:31	この表でそれを整理するというのは、許可の方の一般構造監視設備と言ってる中2、重大事故しか書いてないんだけど、DBの部分もあって、
0:31:42	それを抜き忘れたっていうことじゃないかなと思うんですけどいかがですか。
0:31:50	はい。日本原燃志水です。はい。理解ですのでちょっと適切に対応したいと思います。
0:31:56	はい。そういった話を前回のヒアリングで言ってたと思うんです。
0:32:01	にもかかわらず忘れたっていうのは何ですかね。
0:32:06	消したんです。どうぞ、五味さん。
0:32:11	表現でシミズです。ちょっと技術基準の条文がSAを横に置いて、すいません 49 条横に置いたのに、整合しないという点にだけちょっと気を。
0:32:23	配ってしまってちょっと許可の記載内容が網羅的に記載できてないので、するべきじゃないかという点がちょっと抜けてしまったので、

0:32:31	すいませんちょっと 49 条という条文の番号にちょっと引きずれし引きずられて作業してしまったというのが実態です。
0:32:38	コサクです実態は先ほどそれ聞いたんですけど、何でしょう。
0:32:43	そその視点だけだと駄目だよっていう話を前回しましたよねと。
0:32:48	ということで、その視点から漏れがないか、許可のやつを拾い忘れてないかっていうチェックを、
0:32:56	失念したのはなぜ。
0:32:59	でしょう。
0:33:02	日本原燃の瀬川です。すいません。これ前々回そう前々回かな、指摘をいただいて、前回の修正版ではしっかり反映できていたもの。
0:33:15	なんですけれども、今回また新たに更新をかけるときにですね、ちょっともうフレッシュな目で見過ぎてしまったというのが申し訳ございません。その実態につきます
0:33:26	フレッシュな目で見過ぎてしまって、前々回もらったコメントの趣旨をへ、つまり言い方すれば忘れてですね、新たな視点でチェックをかけてしまってわざわざ書いてあったものを消してしまったと、後期でやろうと思って消してしまったと。
0:33:43	言ったところが実態でございます。申し訳ございません。
0:33:47	コサクです。4 日ありました
0:33:49	何、私前回って言ったのは前々回だったということ。
0:33:53	作業のタイミングが違ったんで、整合をとらずに行ってしまったということに理解を
0:34:00	しましたけど、それはまさに原燃の 2 年かけたところ原因であり、言われたことに対応する、それだけと。
0:34:10	ということが如実に現れていて、
0:34:13	この作業で必要な項目何かという積み上げがないという、
0:34:17	ことだと思っんです。
0:34:21	そこは
0:34:24	なんすかね設計プロセスとして改めて見たときに、要求事項ってのはこれとこれとこれだよと、それ一がちゃんと全体満足するように調整していかなきゃいけないと。
0:34:36	いうことを、
0:34:39	最終的にまとめ上げるっていう作業をしてないんじゃないかっていう気がするんですよね。
0:34:44	石原さんの頭にはあるんですけど。
0:34:47	それが皆さんの頭に入っていないっていうのは問題で、
0:34:51	原燃のやり方とするとそういうのはちゃんと、

0:34:56	資料に落として、
0:34:58	周知してという二等をやるしかないような気がするんですけど、そういうのはできてるんでしょうか。
0:35:10	はい。日本原燃の瀬川でございますが、
0:35:14	もちろんもらったコメントというのはしっかり踏まえてその背景というのもしっかり周知した上で、今回のこの作業に関しては、
0:35:26	多分2イシハラに頼っている部分があるんですけども、再処理側の人間はイシハラが作ったものに対してですね、抜け漏れがねえかといった観点で、精査させていただくと。
0:35:38	そんな作業の流れを組んでおったところです。ただですねもう言い訳にしかないですね。実態として過去にもらっていた重要な観点というものをしっかり、
0:35:50	レビューする人間にですね口酸っぱく刷り込ませてできていたかということ、できていなかったがためにですねこういった、
0:36:00	あるべきものを削除するという行為に至ってしまったということでございます申し訳ございません。
0:36:07	はい古作です。それがですね今の瀬川さんの説明を聞くと、やっぱり単品単品になってるような気がするんです。
0:36:15	私が思っていたのは共通06とか、
0:36:20	或いはそれ一のもとになっている作業方針書みたいなのがあったはずで、
0:36:26	そういうところにちゃんと反映されているのかどうかそしてその反映状況を踏まえた作業を都度しているのかどうかということ、やってなくないですか。
0:36:40	はい。日本原燃の瀬川です。ちょっと場当たり的に対応してる間は、確かにあろうかなと思いますちょっと体系立てて、抜け漏れなくみんな同じ視点で見れるようにという配慮は少し抜けてる印象を受けました。
0:36:57	はい。はい。以上です。はい。補足です。それがですねPDCAができてないということなんですよ。
0:37:04	そうならないよう2申請前に、今の共通06とか、他の共通も含めて、
0:37:14	骨格となる要領みたいなのを、ヒアリング面談で話をして作り上げて、
0:37:21	スタートしていて、
0:37:23	個別の内容とかも入るのでヒアリングでは共通0云々ということでの話になってますけど、もともと計画があったはずなんですよ。
0:37:34	それがちゃんと履行されていなくて、なし崩し的にヒアリングで受けたコメントでっていうふうに対応してきちゃったので、
0:37:41	ところでっていう話をして、共通の終了資料を作ってもらったり
0:37:48	しながらその計画を振り返るように、



0:37:51	少ししてもらうようには話したんですけど、それ自体も何か断片的になり、言われないと作業しないみたいになってきてたので、
0:37:59	非常に疑問を持っていたんです。で、今回の今の件でもうやっぱりそうなんだなっていう感じがしたので、
0:38:08	明日の会合でも何か反省をしたようなこと言うようなんですけど。
0:38:12	実態はまだ伴ってないなという感じがしますので、しっかり計画、常に何かあったら計画に戻る。
0:38:20	それによって何が不備だったのか。
0:38:23	それをどうすべきだったのか。
0:38:25	それを徹底をし改めて全体としてどういうふうにあるべきなのかというのを、関係者ちゃんと認識共有をして作業に、
0:38:34	入ると。
0:38:36	いうことをしっかりと徹底していただきたいと思います。
0:38:43	はい。日本原燃の瀬川でございます。はい。申し訳ございません。
0:38:48	しっかり、いつもこういうことを指摘されればしっかり対応いたしますとしか回答できないんですけども、個人の資質に任せるだけじゃなくてですね、やはり
0:38:58	展開漏れがないように抜け漏れないように体系立ててみんな同じ方向を向いていけるようなそういった仕組みづくり。
0:39:04	なかなかすぐ来こうやれば、
0:39:08	パーフェクトだっていうのはなかなかちょっと難しいんですけども、でもちょっと駄目なものは駄目ですので、しっかり考えていきたいと思えます。以上です。
0:39:16	はい。コサクです。ヒアリングで言うことじゃないような気もしますけど。
0:39:22	それ一をやるために一番まず少なくとも自分が、
0:39:27	こちらの作業として気をつけてることは、
0:39:30	見てわかる計画書にしましょうね。
0:39:33	ということです。
0:39:34	後から見直す気もせるような計画書は維持できないので、運用もできなくて、結果なし崩しにどんどん違う話になっていくと。
0:39:44	ということだと思ってて、そのために計画書をブラッシュアップをしていく必要がある。
0:39:50	思ってます。で、何かあれば必ずそこに立ち返る。
0:39:55	いう意識を持って、作っていくということじゃないかなと思ってて、原燃の書類を見ると、非常2、
0:40:05	わからない人にもわかるようにという配慮なのか、細かくて、

0:40:09	膨大で、
0:40:11	どこに何が書いてあるかわからないというふうになりがちな書類が多いので、
0:40:16	作るのにも時間かかるし見直すのにも時間がかかると。
0:40:21	いうことになっているような気がします。
0:40:25	今から全部作り直すの大変だと思うんですけど、
0:40:29	そういうのを意識しながら作業されたらいいんじゃないかなと思いました。以上です。
0:40:43	規制庁清水です。ホッパー規制庁側から確認とかがございますでしょうか。
0:40:56	規制庁吉見ですそれでは日本原燃から振り返りの方お願いします。
0:41:03	はい。日本原燃石原でございます。まず
0:41:10	共通の②、分類した②番と③番で特に火災とかいろいろとどっちに入れるかっていうところ悩ましかったところは今日の議論を踏まえて整理をさせていただきますと、
0:41:22	いうこと等4ページの書き方ももうちょっと紐づけとして整理が簡略化できるかなというのも今日のお話の中であったのでの整理をさせていただきます、
0:41:34	あと、右下5ページの安全避難通路は場所を移動すると。
0:41:39	それで整理をさせていただきます。あとは、右下、3ページに書いたDBSAを並べて書いたところがひも。
0:41:50	お互いのリンクがうまくとれてない。
0:41:54	特にDB側が書き換えてないところがありますんでそういったのも展開も含めて、今一度整理をするということかと思えます。
0:42:02	はい。あとは、6ページ以降の表ですねこれも抜け漏れがないようにということがちゃんと、最終的に一緒に小の方にちゃんと落ちてるということを、
0:42:14	今一度確認をして抜けがないように向け、修正をしていきます。
0:42:19	ということでございます。以上です。
0:42:23	規制庁清水です。藤。
0:42:25	資料の修正のスケジュールはいかがでしょうか。
0:42:30	はい。日本原燃志田でございます。
0:42:37	OF集中には少なくとも、と言いながら今日まだ技術部でしたっけ。
0:42:42	1週間はかけ過ぎたな。
0:42:45	水曜日ぐらいを目指して整理を全体展開も含めてしないといけないので、水曜日の資料提出で出させていただきますたいと。

0:42:58	してというよりは第1回申請という意味で館野相田石岡からところで水曜日にああいうヒアリングが予定されていて、はい、書き直すかぐらいはその場では
0:43:09	ちょっと他の部分は大丈夫かな、ちょっと他のも影響あるやろからなんですけど第1回申請部分の影響というかどう書き直すかっていうのは、水曜時点で聞けますかね。
0:43:20	はい。それは少なくとも、最低限としてやらせてください
0:43:27	はい。
0:43:28	規制庁有井ですその部分が特殊な分、抜粋する形でも何でもいいんですけど、見れた方が、うちの芝安全かなという気がするんでよろしく願いします。
0:43:37	はい、承知いたしました。
0:43:42	規制庁シミズ規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:43:47	古作です。
0:43:49	収穫ですけど、一番骨格なのが案いうなので、そのヒアリングで舞台を議論し、最終的には、全般的にゼロゼロし、各条 00 資料D、
0:44:01	この方針に基づいて書き直されてるかどうかと。
0:44:06	いうことを確認するのかなあと思ったんですけどそのスケジュールはどんな感じですか。
0:44:15	はい。入社でございます。おっしゃっていただいている通りです③番とか②番とか、転換したときの中で、現状のやつでは、記載が足りてない、紐づけも整理できてないところが多々ありますので、
0:44:30	それを反映したレベル資料で、確かにこの分類額が展開できているという確認をしていただかなきゃいけないと思ってます。こういう少なくとも 00 の各条のヒアリングがありますので、
0:44:45	その場で口頭で答えながらもその時に出たやりとりの反映をした資料の中でですね、再度で資料を修正して計上させていただくと。
0:44:56	ということで少なくとも確か来週、
0:45:02	ぐらいには資料提出のスケジュールが入っていたんではないかと思っますけど。
0:45:08	あとそのスケジュールは違う。来週ですねはい。来週に資料提出のヒアリングのスケジュール入ったと思いますんで、そのスケジュールの資料提出の中ではちゃんと反映したものをお出しをすると。
0:45:20	そこで確かにこの分類額になっていると、いうことの確認をしていただけるもんだと思います。以上です。
0:45:26	はい。コサクですわかりました。今週のヒアリングで、方針については口頭でも説明をいただいて、その具現化した資料を、ヒアリング対応も含め、

0:45:36	来週資料提示ということで理解しましてよろしく申し上げます。
0:45:41	規制庁鳥居水ってだけですけど、来週というのが今多分 24 みたいなイメージだと思うんですけど。
0:45:47	休み場合だとなんか安いというのは 22、2122 辺りを、もし狙えるようであればというのは一応コメントまでちょっと強制もしづらい日付感覚なんで一応コメント申し上げ、状況見ながらよろしく申し上げます。
0:46:00	田尻さんの今の案いうの再提出スケジュールは今 22 で、とりあえず置いておりましたので、
0:46:07	ご希望に沿っていますかね。21 日ですねそういった内容に関しては水曜時点でどう直しますっていうのは今後確定させて、22 っていうイメージであれば他の人たちも今要は影響あるかどうかを確認した上で来週もう 1 回出てくるってやつ。
0:46:22	なんか、今 24 がみんな言ってるんですけど、22 だといいなっていうぐらいで、あの範囲が 22 に書いてあるのは知っているんですけど、要はその他の人達今 24 が軒並みってところなんで、
0:46:34	これは助教に応じてだと思うんですコメントどれぐらい入るかによるとは思うんですけど、24 体とそのあとスケジュールがきちりなところだけなんでちょっと状況見ながらまたよろしく申し上げます。
0:46:46	はい。数日あり明後日か明後日ヒアリング予定してますので、その内容次第ですべてが 24 というのもないと思っておりますのでそこは
0:46:56	勉強編に、できるだけ前倒しで対応したいと思います以上です。
0:47:04	一応志水ほか、規制庁側から、
0:47:07	特にございますでしょうか。
0:47:10	なければ続いて、次の資料に移りたいと思います。
0:47:16	内容構造なり、
0:47:17	はい。
0:47:20	あと原燃側から説明をお願いします。
0:47:24	はい。では材料包蔵の資料についてご説明をいたします。2 ページ目をご覧ください。
0:47:33	材料構造に関連する S A 設計基準の関連する条文、それに関与する設計方針と添付書類の関係というのを 2 ページでまとめてございます。
0:47:47	江藤瑛斗ですね。
0:47:50	ちょっとあの図は見ていただいているかなと思うと思いますし、なかなかここを細かく口頭で説明するのちょっと難しいので、あと、見方の概要だけお伝えします。
0:48:01	今回材料構造の類型化、

0:48:05	にあたってですね、前提となる各条文、そして基本設計にあたってですね、そして基本設計方針の関係というのを示したのになっておりまして、
0:48:17	右上の方に添付説明、添付書類添付書類ですね、として再処理の閉じ込め機能に関する説明書とかこういったところの点線で示してる部分がございます。この点線で示してる部分は今回のこの在庫の説明においては直接寄与するものではなくて、
0:48:32	全体マップとしてこういう添付書類も関与するものとしていますよという、あのさ、参考として見ていただければなと思っております。
0:48:40	江藤在校に関する部分の、
0:48:44	所達ラインの繋がりですけれども、
0:48:48	一番左上オレンジで囲っている閉じ込めに関する基本設計方針、あと蒲区の基本設計方針こういったところの、共通的な基本設計方針を受けた上で、これを右側、
0:49:00	個別項目ということで関連する添共通項目に基づいて具体的に設備対応する設備たちを、この個別項目で並べておりますけれども、
0:49:11	大体関係代替案例と、こういった設備の設計、設計方針というのが2章で述べられます。この2章で述べた、この設計方針に基づいて、
0:49:24	下の方から灰色の矢印伸ばしておりますけれども、具体的な仕様表にその仕様が開示されるという、関係性になってます。
0:49:33	在庫自体はこの仕様表に書かれている温度圧力条件をインプットにして下の方、また灰色の矢印に流してはおりますけれども、強度評価につなげていくというのが大きな流れとなっております。
0:49:47	で、この仕様表に関わる温度圧力条件というのは、上流辿っ上流ではないんですけれども関連する書類を辿っていきますと、
0:49:57	設定交響説明書をよりどころにしてこの温度圧力条件というのが設定されます。この設定高給説明書に繋がっていく流れというのをちょっと口頭で補足説明させていただきますと、
0:50:09	まず、一番左の基本設計方針の中段ほどにピンクで、共通項目としての案いうとSAの方針を、基本設計方針述べておりますけれども、
0:50:20	ここの基本設計方針を受ける形で、真ん中ほどに、ピンクの四角で囲っておる健全性説明書ですね。
0:50:29	これ1章の項目というのは、健全性説明書の2.1から2.5。
0:50:36	のところで受ける、そういう整理をさせていただきます。
0:50:39	一方で、
0:50:44	ちょっと矢印がちょっと不足してましたね。

0:50:48	真ん中ほど上の方に個別項目の基本設計方針書いておりますけれども、ここにも左側の今、4歩ちいからの矢印しか書いてませんが実際の9ポチからの要求も、
0:51:02	入ります。すみません矢印が抜けてます。
0:51:05	4ポチの9ポチの要求を受けて第2章の個別項目の設計方針が述べられます。4ポチと旧土地での設計方針をより具体化したような個別設備の設計方針が2章で述べられた後に、
0:51:20	その内容というのが、オレンジの矢印で下に向かっておりますけれども健全性説明書の
0:51:26	すみません、2.8、2.8以降に展開されるちょっと括弧の、
0:51:33	括弧の領域がちょっとずれてます申し訳ございません。ピンクが2.1から2.7までです。
0:51:41	で、オレンジが2.8以降という形になります。
0:51:45	書き分けは共通的な更新を、2.87まででそれを具体的に展開する、具、今回の在庫の例でいきますと、
0:51:56	S A時の環境条件、この設備は最高使用温度が130度になりますよとか、0.5MP aの圧力にさらされますよと、そういった個別の具体条件が2.8以降で整理され、整理されるという関係性になります。
0:52:13	この健全性説明書の内容を受ける形で設定根拠説明書でその温度圧力条件というのが再整理されまして、これが仕様表の根拠になると、そんなたてつけを考えてございました。
0:52:26	1枚目の資料、以上となります。
0:52:29	で、
0:52:31	次、次の3ページ以降はですね、この2ページで示した全体の体系図の中身のより詳細な内容ですね、材料構造に関連するものだけですけども、
0:52:45	より詳細な内容の概要を3ページ以降にまとめてございました。ちょっとここで言ってちょっと申し訳ございません修正というか記載委員がちょっと、
0:52:57	間違っていたところがございまして、今左、3ページの左側、2.4で環境条件としているところですね、この淡路の下段の方ですね内部ループ通水の系統、0.98MP aとか書いてある部分ですね、これは、
0:53:15	2.4に記載する内容ではなくて、お隣の方ですね、2.8. 4.1とか、
0:53:21	8.6. 2、こっこの個別設備の方で、こっから辺に下か、概要が関連する系統の温度圧力を、
0:53:31	こちらの2.8の方に記載する整理とすべきでしたちょっと前ページの2ページの情報の預け先の成立ちょっと整合してなかったところになりますちょっとそこはちょっと修正点になります。

0:53:44	この資料の説明としては以上になります。
0:53:51	それでは、
0:53:53	次、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:54:02	コサクですけど。
0:54:08	とにペイジーのところいろいろと説明いただいて修正箇所も言っていたと思うんですけど、
0:54:16	等、
0:54:21	先ほどの、
0:54:24	共通個別にも絡むんですが、
0:54:29	それ以前にっていうところで、
0:54:32	共通の中にもう4ポツ、5歩5ポツはですけど、4ポツ、
0:54:39	9ポツ、
0:54:41	一、二、9歩さん。
0:54:45	藤関連しているような気がするんですけど。
0:54:49	この辺りは何。
0:54:51	整理してるんですけど。
0:54:54	前コメントしてたような気もするんですけど。
0:54:58	はい。日本原燃の瀬川でございます。表現としてちょっと等は書き示すかといった悩んだんですけど、まず9ポツの中でいきますと、
0:55:08	9.3というのは独立しているわけじゃないでしょうというコメントをいただいておりました。実際9.3の材料構造を設計していくにあたっての前提条件が何かと言えばですね9ポツ1とか9ポツ2の、
0:55:26	条件ですね、9ポツ3使用条件に対して適切な強度とか材料を、という言い方になりますけどその使用条件って何なのよというのが、
0:55:37	9.179.2で整理されているというふうに思っております。ただこの共通的な基本設計方針のところ、何か主従関係を表すような矢印が適切かということとそうでもないかなと思ひまして、
0:55:52	この資料上はですね、9.3の横っちょに青いテキストボックスで、ちょっと、
0:55:59	控え目に書いてますけどこんな関係性がありますよというのを書き表したつもりでございました。
0:56:06	以上です。
0:56:09	規制庁コサクです。これでいう等、
0:56:14	9ポツ3D級ポツ19ポツ2農関連する部分呼び込むっていうことですか。
0:56:23	それとも基本1ポツ2がキーポートさんに飛ばすってこと。

0:56:29	日本への要請があるどちらかの対応をするべきかなというふうに思ったんですけども、その共通方針間で読み合いという読み合いというか飛ばし合いというか、
0:56:43	そういう記載が本当に適切かどうかといったところをちょっと悩みまして、今日の資料上はそこまで踏み込んだ記載になっておりませんでした。以上です。
0:56:58	規制庁館です。共通項目の中でもちょっと例が違いますけど別に立つの外部事象だろうが一緒じゃないかな。
0:57:07	なんかで飛ばしてる例ぐらいありませんでした。コサクですけど多分と事故名関連とかは、他にも
0:57:17	汚染防止だったり、管関連個別には行かない関連するものは幾つかあったような気も。
0:57:25	しますけど、
0:57:28	そうですねすみません。日本原燃の瀬川ですまさに共通個別の書きは形じゃなくてあれは閉じ込めだ、閉じ込めNO条文の関係整理をしたときに、
0:57:38	廃棄施設というのを、9章、共通項目の9章に書くぞという整理をさせていただいておりますので、
0:57:48	4ポチから、
0:57:51	9.4だか9.5って言ったところに、その廃棄施設の部分ですね、が、木場されるという整理がもうしようとしていたところでした。失礼しました。はい。
0:58:03	はい。コサクです。そういったところも踏まえてどういう形で関連付けるかっていうのを、第1章内での話っていうのも整理をしておいていただければと思います。で、何でそれを言ったかっていうとその構造が、
0:58:17	添付書類の構造にも繋がるよねと。
0:58:21	ということで、前回前々回お話したと思いますのでよろしく願います。
0:58:26	それで、
0:58:30	言うと、
0:58:34	それぞれ関連してるからいいって言えばいいんですけど、
0:58:40	当最終的には設定根拠説明書でって言いつつも、先ほども言われたように、どういう受
0:58:50	時にどれぐらいの圧力になるか云々っていうのは、設定根拠説明書ではなくて、
0:58:56	その横2ピンクの矢印書いてますけど、
0:59:01	健全性説明書のおそらく2歩、先ほどの説明だと2ポツ8。
0:59:07	のところに、



0:59:09	甲斐。
0:59:11	であって
0:59:15	有効性評価での温度圧力を引用するのであればそれで済むんでしょうけど、そうじゃないものは、場合によっては、事象解析をして、圧力温度を求めてみたいなことに、
0:59:28	なるようなことが書かれる。ここで言うと、SA時の環境条件の特定って言われてるものがあるっていう理解で。
0:59:38	いるんです。
0:59:40	けどまず理解はそれでいいですよ。
0:59:43	はい。コサクさんに今説明いただいた通りです 2.8 の各
0:59:49	大体、換気設備とかの個別のSA設備のところで、その衛生設備がさらされる環境条件というのを具体的に特定して参ります。繰り返しになりますけれども有効性評価の範囲の数字であったり、
1:00:04	水素爆発の0.5メガみたいなのはこれは改めて、極有効性評価の範囲ではやってない数字ですので、改めて0.5の算出根拠というものが、ここで述べられるそういうことを考えてました。以上です。
1:00:19	はい、古作です。それに繋がるのがどこかといった時に今、オレンジの矢印が上から、
1:00:27	降りてきてて2ポツ8に入りますよと。
1:00:31	言われたんですけど、
1:00:33	もともとこの2ポツ8野田の流れの話を聞いてたときには、
1:00:39	基本設計方針からいきなり来るんじゃなくて、点線で書かれてる右側に入って、
1:00:46	重大事故のそれぞれの、
1:00:48	機能という説明があった上で、その機能を達成するためにということで2ポツ8にいくんだと。
1:00:58	ということで点線で書いてあるのと、先ほど言った、
1:01:03	オレンジ色実線で下に下がってくるのってというのが、
1:01:08	何か話がダブっちゃってるような気もするんですけどそのあたりは、
1:01:13	何か両方から呼び込まなきゃいけないってことなんですかね。
1:01:19	はい日本原燃の瀬川でございますどこにどういう情報を書きあらわすかと言った部分の解説がないのでちょっと
1:01:30	説明が難しかったんですけども、右側の添付書類ですね、こちらの系統構成、もともと冷却できることとか放出量を抑えることができることと、
1:01:44	言った、設計を担保するための系統構成をどうすべきかというのがこの点線で囲ってる添付書類で、述べるところだというふうに思っております。

1:01:55	それ、これがだからのけ系統構成の情報がここからここで整理、右側の点線の添付書類で整理されます。
1:02:04	一方で、上から下に流している矢印ですね、2章の個別項目で12%の爆発に耐える設計にしますという基本設計方針を述べますので、
1:02:16	この12%での圧力がどうなるんだといったところの具体、具体的な圧力のインプットというのが上の12%というものになっております。
1:02:28	ここで瀬川さん、石原ですけど。はい。今のご説明しながらやっぱり違和感があって、
1:02:36	今日右の上にいる、
1:02:39	閉じ込めに関する説明書にぶら下がってる人は、あくまでハブでしかないの、先ほど古作さんが言った第1章第2章の基本設計方針の役割を整理していくと。
1:02:53	条件を出す人は、第2章の5だったり7だったりの人だよという、
1:03:00	そういった系統構成があれど、その中身を具を説明する人は、
1:03:05	第2章の合田金田というと排気だったりのその個別その説明書で受けた上で、2.8に行きますって言わないと、流れが合わないんじゃないか。
1:03:17	余りにもこの右上の添付書類に役割を持たせ過ぎてるんじゃないか。
1:03:24	それは今の、はい。私のちょっと説明がよくなかったですね私は右上の添付書類が何かたくさん情報持ってるかということそんなことはなくて石原さんがおっしゃった、
1:03:36	尾崎です。ごめんなさい。
1:03:39	そんなたくさん情報持ってなくてっていうのは、表現として違うと思ってる、
1:03:44	基本設計方針を一旦しっかりと受けとめる大事な場所だと思うんです。
1:03:50	ページ数とかは大して多くないのかもしれないかもしれませんが、
1:03:54	受け持つのがバラバラばらっといっちゃうと、
1:03:58	先ほど前の資料でもあったようにですね、
1:04:02	いやこれはこっちがやるものですからこれをこっちでやるものですからと分断されてしまって、トータルちゃんと落とし込まれてるのっていうチェックが難しくなるんですよ。
1:04:11	なんですけど、この部分はここで意識受けますよということで整理をしているんだと思ってたので、
1:04:18	右側の添付書類がしっかり受けとめて、
1:04:22	それで系統構成なりを説明し、その系統構成は、機能としてはこうだからこういう状態でもカバーしますという、
1:04:32	12%での云々というところまで受けて、
1:04:36	それを具体的に展開をするのが、その下に行って、

1:04:42	これは6だけ。
1:04:44	6.6-1-1-4。
1:04:47	の、2ポツ8のほうにおりていって、そこで圧力なりなんんりの具体にし、
1:04:57	説明が設定根拠法では呼び込まれ、
1:05:02	本文としては並行して灰色の方で本文にも、本文と仕様表と。
1:05:07	いうことになっていて、その説明にもなって、
1:05:14	その2本、
1:05:16	I 18の部分は、本文の方で、9ポツ1ポツ2から9ポツ3の方に行って、その条件で構造強度を保つと。
1:05:27	いう流れが
1:05:29	添付書類5の方で受けられていて、その関係性と同じように
1:05:37	リブツはちいとの関連が言われ、後でも言うのかな、いう形になって最終的に計算書に落とし込まれると。
1:05:47	いうことだと思うので、あまりエラーをいっばいつけてですね、ぐちゃぐちゃと有機的につなげなくても、
1:05:55	それなりの線の数で繋がってくると思いますので、それで整理をしていただきたらと思います。でないとですねこの矢印が、
1:06:05	その添付書類の最初のところ何々に基づくものを何とかしますよと。
1:06:11	いうその書類脳概要説明のところにはねてくるんですけど、現状だととても複数になって書きづらいんじゃないかなという気がしたんです。
1:06:21	その点先ほど石原さんは理解いただいたようなので、それぞれの書類の書き、
1:06:28	落としていってですね、認識を合わせてもらえればと思います。
1:06:34	はい。日本原燃のセガワですちょっと私の理解がまだまだ足りてないんだなといったところが露呈しましたので、ちょっとイシハララーをですねレクチャーしてもらいながらちょっと今一度私自身頭の整理させていただきたいなと思います。はい。ありがとうございます以上です。
1:07:00	古作です。
1:07:05	大体そういった関連性で微妙にずれてそうだなってところは話はできた。
1:07:12	思うんですけど、三瓶Gのところは先ほど、記載場所が間違っていましたってというような話をありましたが、
1:07:22	2ポツ7までのところは、共通の設計方針を受けて、基本的なところをまとめるところであって、具体化は2ポツ8、さらに
1:07:32	ぶら下がっている。
1:07:35	各書類ということになっていくということなので、

1:07:39	それでいいと思うんですけどこれ、
1:07:43	2ポツ8の今の書きぶりだと圧力温度にまで展開されてなくて、とても記載が足りないということだと思うんですけど、ここはあくまで例示で部分的にっていうことと理解をすればいいですか。
1:07:57	はい。日本原燃の瀬川さんちょっと例示でした。はい。以上です。
1:08:03	はい。それ具体的にしたところの、
1:08:07	ところで聞ければと思うんですけどそれはあれですかね。
1:08:11	第2回にさせてくれというので面談側でっていうこともあるんですか。
1:08:19	はい。そうですね第1回ではちょっと議。
1:08:23	議論というか、確認いただける場がないかなと思っておりますので、
1:08:27	面談かなと思っております。
1:08:33	はい。
1:08:36	面談の側で言うとう設定根拠説明書について共通するものはなるべく別紙にしましょうねみたいな。
1:08:43	話があって、それ方針っていうのも聞けてないんですけどそういうのは、いや、ベンダーでやるつもりあります。
1:08:52	はい。上野セガワさんですね。いや、いただいてた大分前にいただいたそのアドバイスは、もうすでに社内でも展開してはいますね、
1:09:03	何ていうんでしょう、もうす。
1:09:06	本当に大丈夫ですかって取られてしまいそうな気もしますがとても非常にわかりやすい整理だなと思ったので、もう大丈夫だろうと思って、大丈夫だろうと思ってというか、
1:09:16	言われた通りにですね、別紙側に評価方針めいたものを全部集めて、設定根拠説明書の本体側はその評価方針を読み、
1:09:26	行った結果としてこういう結果になりますという書き方で統一しようということで社内的に走っておったところです。なので、すいません。
1:09:34	また改めてこういう書き方で塗装相談をするまでもないかなと思っちゃっていたところでした以上です。
1:09:42	古作です。我々の中でもよくあるんですけど、それは思い込みと言います。
1:09:50	前の会合でも言ったと思いますけど思い込みは、後で痛い目にあるので、前広に確認をしていった方がいいと思います。多分ずれてるところがあると。
1:10:03	はい。私は今ちょっと説明をしながら、前回会合で指摘された辺り当たり前を当たり前としてちゃんと確認した方がいいというコメントを思い出しましたので、
1:10:15	しっかり具体例でちょっと相談をさせていただければと思います。以上です。

1:10:23	はい。水、日本原燃石原でございます。瀬川、岡井なさそうな雰囲気を出してましたけど、2回に向けては言いたいことがいっぱいあってですね、項目立ててちょっと
1:10:35	別途面談のスケジュールも入れさせていただこうかなと思ってました。いろんなそういう書き方を、やはり事前に面談という形で、
1:10:45	確認をさせていただきたい部分があるので、ちょっとこちらで
1:10:49	MOXのことを考えてって言ったならあれですけど、最初にも共通でやることを考えて、またお願いさせていただこうかと思ってます。以上です。
1:10:58	はい、古作です。よろしくお願ひしますで何かっていうと、今の部分は設定根拠説明書から飛ばして、健全性説明書側で説明しますっていうことなんですけど、
1:11:10	趣旨は設定根拠説明書どうしますっていうのと、
1:11:14	同一になってないと、説明が不整合になるという形だと思うので、
1:11:23	特に共同計算書の方でも、どう扱ったらいいかって悩むような、爆破 I I 時の旬瞬間的な荷重と、
1:11:34	ということですから、この分、この健全性説明書のところでどういようなことをやり、どう引き継ぐのかと。
1:11:43	いうことは、整理をして全体としてまた、
1:11:48	説明なり相談なりしていただいたらというふうに思います。
1:11:53	はい、日本エリアのセガワさんの承知いたしました。ちょっと具体例をもって相談は改めてさせていただくんですけど、今ちょっと、ちょうどいい機会だったので、
1:12:05	その人シキイをちょっと、
1:12:08	ご確認をしたいんですけども、私の頭の中ではですね、健全性説明書でその温度条件、圧力条件、
1:12:18	なんていうのは、健全性説明書側で定量化して、
1:12:23	設定根拠説明書側は、健全性説明書の結果をただ読み込むだけ。
1:12:29	の整理かなと思っておりました。
1:12:32	そういう認識はちょっとどうでしょう。ずれてますでしょうか。コサクですけどずれてはいないんですけど、鳥羽氏、
1:12:43	また、呼び込むっていうような形での健全性説明書の
1:12:47	書きぶりなり、程度感っていうのが、別の設定根拠の中で説明してる圧力温度とかと平仄あってるのかと。
1:12:57	いうところとかは整理をしていく必要があるだろうということで、全体として説明してくださいねとお話をしました。
1:13:07	はい、日本への要請は承知いたしました。
1:13:14	コサクです

1:13:17	後ですねえ、これは、
1:13:19	本当は最初の説明で是正様のことを言っていたかかったんですけど、
1:13:24	4 ページ 5 ページ。
1:13:28	で、可搬についてどう扱うんだっていうところが、
1:13:34	これ完成形だと思って書いてます。
1:13:44	日本原燃石田でございます。下部整形ではないというのは、伝えております。担当者に、完成品、
1:13:55	可搬だから完成品とか何か紐づけも含めてちゃんと整理をしないと、どれがどういう評価の方法になるかっていうのをちゃんと紐付けして整理をして全体像を示さなきゃいけないので、
1:14:06	4 ページ 5 ページに書いてあることがすべて答えたとは思ってません。はい。
1:14:11	はい。コサクです。そうなんですよ。基本的には 6 ページの方が完成品に近いですよ。
1:14:20	でもこうなるように、
1:14:22	言えばよくて、
1:14:24	なぜわざわざ常設可搬で分けなきゃいけないんだよと、いうことなんです。
1:14:29	条文要求として、SA 設備のところは常設と可搬 d 項が分かれてるかもしれませんが、
1:14:38	そんなのは、大本の基本設計方針のところつつらつつら書けばよくて、
1:14:46	材料構造に落とし込んだときに、
1:14:49	わざわざ分ける必要ないわけですからそれで最初 2 機ポツ 2 から 9 ポツ 3 に移すときどうすんのって話をしたんです。
1:14:57	その時にも整理をしてしまえば、ここで類型をこんな武力上こねくり回すようなことをやる必要はないので、最初から 6 ページのようにやりたいことをやると。
1:15:08	でその内数の中で常設があるの、常設だけなのか、母もいるのか、班だけなのか。
1:15:15	いうことは
1:15:16	どちらかと計算書側で見ればいいぐらいの話で、
1:15:20	だと思ってます。
1:15:22	ていうのであまり体系を複雑に見せないようにしてください。
1:15:29	ニューメディアでございますはい。おっしゃってた前回の在校のヒアリングでもやりとりをさせていただいて、評価をするというやり方のパターンが、幾つか分類されてその分類の中に、いろんな登場人物がいるというだけで、

1:15:45	結局は評価の仕方だと思ってますので、添付の中でそういう展開をするということで整理をしていこうと思ってました。そこまで今なりきってないところは、
1:15:55	主ん是正をして修正をしていきたいと思ってました。以上です。
1:16:01	はい、古作ですよろしくお願ひします。
1:16:10	規制庁上出です。今の話は、5 ページ 6 ページの話ですけど、
1:16:18	在校の、
1:16:20	別紙 4-2 だったりそれ以降の構成に大分影響がありそうな話だなんて聞いてましたけど、どういうふうに、
1:16:31	補正に向けて対応されるか、スケジュールかみたいな。
1:16:38	はい、二本木仁科でございます。私が答えてスケジュール感がそうじゃないという場合は 6 ヶ所から何か、
1:16:46	はい。
1:16:48	今日も
1:16:50	やらしていただくと思って耐震が熱のやってる、いわゆる、
1:16:55	まだ
1:16:58	交流ベースよ、4-2 というところのスクリーニングの分類の仕方を作り の計算。
1:17:07	の方でどう受けるかということの整理を、その全体の枠組みをまずちゃんと整理をして、そういう意味で今、在庫の別紙 4 の頭について図がです ね全然ナゴ値を合わせなくて全然整理ができてないので、
1:17:22	あれを整理をした上で次、なるべく早めにあれをするために、全体構成としての役割分担なり紐づけなりの、
1:17:33	話をさせていただいてあと並行して、00 資料も直しつつということで、2 段ロケット的な形で、その前半部分は今週な、なるべく早い時点でヒアリングも含めてやらせていただきたいなと思ってたところでした。以上です。
1:17:50	赤尾年齢のセガワですちょっとだけ補足をさせてくださいイシハラは申し上げた依命 G とほぼ一致してるんですけども、ちょっと
1:18:00	これは土佐、今日、最最後の方ですかね累計可能スケジュール感を少し画面共有させてもらいながら説明させていただこうかと思ったんですけども、そのスケジュール上はですね、
1:18:13	各条 00 への反映も含めてちょっと今週中に 1 回、
1:18:20	整理したものを提示したいと、いうことを計画していました。
1:18:24	はい。以上です。
1:18:32	はい。規制庁神です。
1:18:36	00 までやって後戻りなく進められるっていうんであればあれですけど、

1:18:43	あれですけど、はい。
1:18:46	なので、00としてわあ、今週中についてということだけど、
1:18:53	それにす。それに至るといとか、並行して、今やっている作業はこんな感じですよっていうので、
1:19:03	事前に1回ワンクッションヒアリングを入れておくと。
1:19:08	いう感じで、石原さん言われたのかなと理解をして、あんまりずれてないってことなのかなと思ったんですけどその理解でいいですか。
1:19:17	はい。遊技石田でございます。はい。
1:19:20	あと、どれがすごく怖いのでそういうやり方をさせていただければなということで、話をさせていただきました。
1:19:26	はいコサクですカミデ算数の理解2行くと、大丈夫そうですか。
1:19:32	はい、カミデですわかりました。早めに多分そういう、
1:19:36	ヒアリングを設定、多分水曜日とかそれぐらいに、
1:19:40	やるんだらうなというところで認識しました。あとは調整します。
1:19:50	規制庁上井です。あと、ちょっとこの資料で、ちょっと前、前に戻っちゃうんですけど、
1:19:57	2ページのところで、やっぱりSAの過渡的な状態っていうのが割とポイントになってくる気がしていて、
1:20:09	9.3ではもうここにあって、
1:20:14	SAのあとの条件が初めて出てくるのが、本文上だと9.22、最初に登場しますってことですかね。
1:20:24	はい。日本原燃の瀬川です後に、ご理解の通りでございます。
1:20:30	はい。規制庁加来です。これを受けた9.3があるから、そこで受けますと、いうことなんですけど構造のところは明示で受けていて、材料のところは明示に受けてないんですけど、
1:20:44	大材料のところはちゃんと受けた。
1:20:51	ちょっと日本原燃のセガワでちょっと配慮がタラタラいてなかったですね、やはり、
1:20:59	材料側も同じでしょうから、そこはきちんと紐付け関係整理したいと思います9.19.2を受けるものだと思っております以上です。
1:21:12	はい。規制庁深見です。あとここにはないんですけど、耐圧っていう項目もあってあと溶接もあるんですけど、
1:21:20	そこはどうなんですか。
1:21:26	はい。日本原燃大窪でございます耐圧試験通り築山溶接も耐圧で確認する部分がございますので、耐圧試験等と同じ内容になりますけども、
1:21:37	SAの耐圧試験の取り扱いのところに



1:21:41	耐圧試験規定の圧力で困難な場合の取り扱いを基本的方針に記載してご ざいますので、そこで受けるものというふうに認識してございます。
1:21:50	以上です。
1:21:52	はい。
1:21:53	規制庁亀井です。わかりました。とりあえず頭で排除することではなくて 一旦一通り受けてという。
1:21:59	理解はしました。
1:22:02	であったらいいですね、SA発生時の過渡的な状態っていう文言。
1:22:09	は、もうこれで、
1:22:11	確定ですか。
1:22:14	浦部の生活まだ確定というつもりはございません宇井より良い表現があ ればそういった表現に変えていきたいと思っております以上です。
1:22:26	はい。規制庁カミデです。
1:22:29	何か、
1:22:30	これがっていうのがあるわけではないですけど、す申請書の文言として はあるかなっていうのがありますし、ここの文今後また在庫の点に出 くるので、評価条件整理表だったりその前の、
1:22:45	別紙だったりってそれが第1回に関わってきちゃうっていう話なのでこ の辺りも、これっていうものでまた見せてもらえれば
1:22:56	はい、承知いたしました。
1:23:00	はい。規制庁加茂です。私の方からは以上です。
1:23:16	はい。
1:23:17	言ってた吉井。
1:23:20	他に質問ある方だけ。
1:23:22	いらっしゃいますでしょうか。
1:23:28	なければ最後に人間の方から、振替笹井。
1:23:33	最後ではないけど
1:23:35	そういうこと。
1:23:36	それではこの資料の提示と、二本木委員の方が振り返りと、今後のスケ ジュールをお願いいたします。
1:23:44	はい。日本原燃の瀬川ですまずスケジュール方ありきになっちゃいます けれども、今週、そうですね。
1:23:55	10、
1:23:58	16 ないし、
1:24:00	17
1:24:02	16

1:24:03	16 ぐらいだったらですね、今日この後耐震で見ていただく資料に相当するものと、あと本日いただいた相関ずーと、
1:24:16	あとあれですね最後はコサクさんから、常設可搬で最初からわけじゃないというようなそんなやり方じゃないだろうといった趣旨を踏まえた、
1:24:27	この、本日、今見ていただいている資料の更新版及び、この後、耐震でやろうとしている資料に準ずる在庫版、
1:24:38	今週の
1:24:40	遅くともですね。
1:24:42	うん。
1:24:43	16、
1:24:45	16に提出をさせていただき、今週中にですね、10名中18がどちらかご都合のつく方で、1回、ヒアリングを設定させていただけたらなと思っております。以上です。
1:24:59	ありがとうございます。
1:25:01	ほぼ、
1:25:03	それでは次の資料の説明に対し、すいません。規制庁古味です。17ヒアリングで、00今週中データ1大丈夫。
1:25:12	ですか。
1:25:14	日本原燃の世良です
1:25:16	そのときも、やはり本当次第でしょうか。
1:25:22	粗相でも00資料もそんなゆっくり対応している余裕はないので、は、
1:25:30	要はちょっと物理的にちょっと上ですね18200資料を提出するとなるとですね、17日までに、
1:25:37	もう内容がフィックスしていて、中はちいの午前中にマスキングチェックをして出すというような流れになってしまいますので、そうすると17にヒアリングを設定した場合のコメントが反映できないことになるので、最速で21の提出通コサクです。
1:25:55	単純に、
1:25:57	16食う能提出と言ってるのを、
1:26:00	16時以降とかじゃなくて午前中とかの意識して、午後にヒアリングしたらいいんじゃないかと、いうことだと思いますけど。
1:26:12	宮城西浦でございます。神谷さんがおっしゃってた16日水曜日にやるのが一番、多分、スケジュール的には、
1:26:20	切りなタイミングなので、江川さんそうしましょう。
1:26:24	大枠の整理をするのは、

1:26:27	京都、今日のこれから後、明日1日あれば全然できるはずなので、16日の朝、知恵を提出して16日のヒアリングやっていただけるように調整するのが一番。
1:26:38	正常的には合うんじゃないかなと思います。
1:26:42	はい。植野申しますわかりました。
1:26:44	16午前提出協力ヒアリングで、18日までに、00資料を再提出するといった流れで対応させていただきます。以上です。
1:26:57	はい、規制庁上津、わかりました。何か催促して3日になってるんですけど。はい。そちらの工程ですかっていうのはあるんですが、はい了解しました。
1:27:15	規制庁谷井です。16日、今現時点で共通589と阿藤。
1:27:20	自分が担当してるのは第一グループの商品マーケ系というのを入れてちょっとどうなってるかってところあるんですけど、
1:27:27	終わった後がいいかそれともちょっとすいませんチームテストの関係があるので、そこは臨機応変に順番を入れ替えられると思ってるので、優先順位的には取ってやった方がいい案件なんでそちらの準備と、こちらの体制整えつつやるということでもよろしくお願いします。
1:27:46	はい承知いたしましたちょっとあの、どの順番でやるかというのはまた改めて、あの時城野局さんを通じてですね調整をさせていただければと思います。以上です。
1:28:00	それでは、他になれば次の資料の説明に移りたいと、移っていただきたいと思います。
1:28:12	内容なので次の資料の説明よろしくお願いします。
1:28:21	すいません画面共有で対応いたします。対応しますので少々お待ちください。
1:28:30	いや、
1:28:31	狭めようこの画面だけのやつに余計なやつでも消して、
1:29:07	あれです。
1:29:14	日本原燃星野です。説明の方始めてよろしいでしょうか。もうちょっとだけ待ってください。すいません。はい。
1:29:22	違う。
1:29:41	瀬田理事お願いします。
1:29:44	それで持ちって、
1:29:46	はい。
1:29:47	ちょっと。
1:29:49	いいですよ。
1:29:54	はい。日本原燃の星野です。

1:29:57	藤左上に耐震性に関する各申請書の記載についてという資料でご説明いたします。
1:30:04	先週の金曜日に、ヒアリングでもございましたが、
1:30:09	形耐震計算書の基本方針ですとか、計算式の部分とか、あと計算書自体にどこまで何を書くのかということで、
1:30:19	私どもで整理した内容をこの資料にまとめさせていただきました。
1:30:24	ちょっと文字が小さいので左の方から順に説明させていただきたいと思えます。まず左の方ですね、囲ってるものが、ちょっとタイトルをですね、4-1-2-1ということで、機器の耐震計算に関する基本方針と、
1:30:40	こちらですねもともとは計算書作成の基本方針としておりましたが、ちょっと内容を改めて見なおしてみてもこのタイトルに言い換えさせていただきたいなと考えております。
1:30:51	この基本方針では1行目のところで太字で記載しておりますけども、基本的な設定方針ですね、計算上の基本的な家設定方針を明確にしたいと。
1:31:03	いうふうに考えております。ここの内容についてはちょっとご説明を分割愛させていただきたいと思えますけども、
1:31:13	最初の四角のですね、
1:31:17	と3ポツの
1:31:20	四角の下の方に※1と※2というところを書かせていただいているんですけども、こちらは3ポツ1ポツ1のところでは解析モデルの選定において、
1:31:32	まず市連携モデルと、有限要素モデルに分類するということを記載しております。次にですね※2のところですけども、
1:31:41	※2のところでは拘束条件として、固定式の設備と移動式の設備に分かれますのでここで分類が生じます。
1:31:50	あと下の方に行きまして、
1:31:53	3ポツの6、許容限界の設定のところですけども、こちらで形式された計算式と、
1:32:03	有限要素法を用いた評価ということで、それぞれ容器、容器類と、支持構造設備に分類させていただいております。
1:32:12	これをまとめますと一番下のところで、
1:32:18	個別の計算書作成の方針に示す分類として5分類ということで、五つに計算書の
1:32:26	まとまりを分けたいというふうに考えております。次真ん中のところに行きまして、

1:32:35	真ん中の上ですね。はい。こちらが5分類に分けたものになります。で、上の三つはですね次回で示す範囲ですので、今回第1回申請、対象としては、
1:32:46	4-1-2-1-4 ということで、
1:32:50	FMでやる支持構造設備のところの記載内容について内容を記載してございます。
1:32:58	こちらの方は左の基本方針の本文を受けてここでは計算書、各項目を示すとともに、
1:33:10	計算上の設定方法、選択肢ですとかそういったものを示すとともに、計算式の具体を示したいと考えております。
1:33:21	次に右の方に行きまして、
1:33:24	右の方が耐震計算書で示す内容になります。こちらの方では耐震計算書上の設定の結果と、計算の結果を示したいというふうに考えております。
1:33:37	こちらの方は記載の通り各設定した結果ですとか、計算した結果を耐震計算書としてお示ししたいと考えております。
1:33:49	説明としては簡単ですが以上になります。
1:33:58	はい。規制庁田尻です。すいませんちょっと自分が理解してなかったからキクチますけど、左端の方から来ていて、
1:34:05	やはり或いは方針、方針、基本方針があって真ん中の列にいるのがこれは、
1:34:11	何までここに書いてるかっていうと評価をする。
1:34:15	計算。日本原燃仁科でございます。タイトルを見事に消してくれたので、わかんないですねこれ計算書作成の基本方針です。真ん中は、
1:34:25	なので、これちょっとぎりぎりまでやってたんですけどまだちょっと思いが伝わってなくて、何とかの設定方法とか考え方を真ん中に書く日があんまりなくて、
1:34:37	そういった設定すべき考え方は全部左側にいて、真ん中にいる人は、一番右の計算書を使うにあたって、どういう数字をどこから持ってきますとか、どうして選ばなきゃいけないところの選択の中から選びますとか、そういう
1:34:52	計算書に書くべきことっていうの、紐づけをしてくれるのが真ん中、そこでこういうことを書きますといった結果だけを右側に書くっていう義務づけがしたかったんですけど。
1:35:04	まだすいません思った通りになってないですね。
1:35:07	はい、規制庁タジリなんて左挙げた本当の僕の方針あってで、実際のこの中身判子ってよくわかんないけど真ん中部分でそれぞれのついて類型化した考え方がそれで書かれて、

1:35:18	それじゃ、番号がよくわかんなくなっちゃうけど右端っていうのはどこにぶら下がってるんでしたっけ。
1:35:24	今、4121 がいてそこにぶら下がる形でそれぞれのパターンのやつがいて、
1:35:31	計算書は2年ホシノです。すいません計算書の部分ですけども4-2 となっておるんですが
1:35:43	ここにも主目次をちょっと見直してる最中でしてここ補正にまでの間に修正したいと考えているところです。
1:35:53	プラス上がりとしては4-1-2-1-4 の1になるかなというふうに考えております。
1:36:05	あ、コサクです私もわかんなくなりました。
1:36:13	どうぞ。
1:36:15	規制庁上出です。
1:36:19	石原さんが説明してもらった思いと私はほぼ合っているような気がしていて、今やっぱり真ん中でその設定方法とか、
1:36:30	言ってますけどこういうものの考え方を基本的に左側で、一通り話をしています、
1:36:38	右側もイメージはそんな違ってなくて、モデルだったりとあと要目表があって、結果の表があってってということなんで、
1:36:48	そのつなぎをるところだけが真ん中の役割ということだと思いますので、そういうイメージの通りに整理をしてもらえれば、
1:37:00	いいんじゃないかなと私の感想としては、まず思います。
1:37:06	で、ちょっとよくわからないのが、一番左の下のところ、
1:37:15	最後に、5分類って24角で書いてあるんですけど、これがその方針上どう見えてくるのか、この3ポツ、
1:37:25	をしっかりと読んでくれば、おのずと5分類だよねっていう話になるのか。
1:37:36	頭の方で和気頭の方で分けるってわけでもないですけど、何かこの5分類に至る過程がちょっとイメージできないんですけど、どんな感じですか。
1:37:49	はい。日本原燃星野です。5分類に分けるか当てなんですけども、先ほども少しご説明させていただきましたが、まずう3ポツ、一番上の3ポツの1のところですねモデルの設定のところ、
1:38:07	まず、出展系統、FEMモデルに分類をかけると。
1:38:13	そのあと拘束条件の設定の違いで、固定式と移動式に分かれますので、まずここで移動式設備というのが一つです。
1:38:25	はい。ちょっと
1:38:27	ここでって言われてますけど、

1:38:30	単純に拘束条件としてはこういうのとこういうのがありますよという形ですよねその場所は、
1:38:37	言われてるその5分類云々っていうのは、
1:38:41	どうも今の左の枠で言う話でもなくて、
1:38:46	真ん中の枠こういう観点からこう分けて、
1:38:52	計算書は作りますという、
1:38:55	だけのような気がするんですけど。
1:38:58	なんか、左の枠で言うことってあるんですかね。
1:39:08	はい。日本原電、星野です。
1:39:11	左の方の設定の考え方のところ、分かれるという考え方があるんですが、その考え方に基づいて真ん中のところで、分類の説明をするというかその分けるということ自体は
1:39:29	全然できますので、そういった構成には答え連れてきて、変なあれだけど、固定式と移動式っていうのと、
1:39:41	形式開発された計算式を選ぶのと、
1:39:44	何が違うんですかって。
1:39:46	いうことだと多分同じことなんですよね。だけずっと言っていると多分2分の1ですこれ、定式開発したやつと、FMみたいないう形をそこでやるやつの二つしか分類なくてその中を一生懸命分けてるんだけど、
1:39:58	その選択肢が、真ん中で言う選択肢を示すことと何が違うかってあんま変わりなくて、同じだったら、左で一生懸命言う必要もないかなっていうのがさっきの話かなと思います。
1:40:11	はい。日本原燃星野です。はい。はい。はい。理解いたしました。左の方での分類としては、石原さんがおっしゃった通り2分類で、あとは
1:40:23	中から、こういう理由で計算式を五つに分けますということは真ん中で説明すればいいということで、理解いたしました。
1:40:33	コサクですそ、そう言いつつですね、ちょっと不安なのは、
1:40:40	固定式と移動式で、左の枠
1:40:46	ここ、その荷重の組み合わせだったり、地震力の設定だったり、こういう周期の算出だったりと、
1:40:52	いうところで、説明事項として分ける必要はないということでもいいですねと。
1:41:00	今、
1:41:02	例示として固定式の式で言いましたけど、相互関係はないと思って大丈夫ですか。
1:41:15	日本原燃石原でございます。これを作るときですねおっしゃっていただいたと同じような話をして、

1:41:21	結果こうなったので、
1:41:24	条件として設定するときに、考え方が異なるもの、しっかりと仕分けをしておいた方がいいものってのがあってあるんであれば、それが、例えば今3.1の拘束条件というところだけではなくて、
1:41:37	他の3点差、3.4というところでもう紐づくんであれば、それがたくさん出るようであれば、これはもうこの一番左で分類するべきだろうと。ただ、1か3しか出てこないやつは、多分選択肢と同じなので、
1:41:51	平出分解する必要はないんじゃないかっていうのが私のもともとの感覚でした。そういう整理をしてくださいという話をして作り上げたのがこれだったので、おそらく相互関係はないんじゃないかと思ってます。以上です。
1:42:05	はい。補足ですわかりました。ちょっと画面下にずらしてもらっていいですか。
1:42:18	コサクですそれ3ポツ6のところ容器類と主事構造設備で分けますと、
1:42:25	ということなんですけど。
1:42:27	これって何。
1:42:30	ですかね。
1:42:33	この要望自体もちょっと私自身はずっと、
1:42:36	気に食わないというか、
1:42:38	意味がわからなかったんですけど。
1:42:44	日本原燃吉田です。
1:42:46	当区設計の中でですね、確かにやる内容として大きく違うものではなかったんですけども、衛藤。
1:42:55	要求として構造物というところで、
1:42:59	それぞれ設備の構造によって許容限界が異なるというところでそれは計算内容というところに持つ値が出てくるというところで我々、
1:43:08	すみません、古作です。
1:43:11	その時点でもう理解が追いつかなくなりました。
1:43:14	私の想像したのは皆さんの言ってるよう切る言って、建屋近づけD設置をしていて、その床をとレベルを入れればいいだけというものに対して、
1:43:26	支持構造物だ支持構造設備と言ってるのは、当該設備の中で架構の構造がとられていて、床応答スペクトルそのままを、
1:43:36	その評価部位にぶち込むということではなくて、評価をしていかなきゃいけないっていうものなのかなと想像してたんですけど。
1:43:43	私の理解は違っていました。
1:43:51	日本原燃星野ですおっしゃっていただいた通りかと思えます。



1:43:56	容器と支持構造物で分けてるのは容器本体の評価の許容限界の考え方と、容器の部分でも支持構造物の部分の許容限界の考え方、あと、
1:44:09	支持構造物単体に分けてるところは燃料取扱ラックとかですねそういったものでも、許容限界の考え方が違うので、ここでは先の計算式を取りまとめる上で
1:44:24	そういった分類で分けさせていただきたいということで分けてたものになります。
1:44:28	と規制庁カミデず、今の話は何か、答えが同じですっていう答えが違うような気がして、
1:44:38	うちのコサクは、支持構造設備っていうのは、もう機器っていうのは、一旦支持構造物に地震の入力を与えてその頭でさらに、
1:44:48	機器を評価するもんですか。つまり冷却と何かそういうことやってますけど、そういうものが支持構造設備ですかっていう答えに対して、オプション3今、燃料ラックって言いましたけど、
1:45:01	その燃料ラック単体でまずねまず燃料ラックで地震応答を見てさらに、そこから機器って言っても何も無いと思うんですけど、耐震評価するようなことをしてるんですけど。
1:45:16	日本原燃星野ですが、申し訳ありません。そういった意味だと私の回答が間違っていたと思います。
1:45:26	コサクで今のやりとり聞くと支持構造設備という中には二つあって、
1:45:32	加工の構造が中間にあるものっていうのと、ラックみたい2、複数の入力が入ってくると。
1:45:42	いうことがある。
1:45:44	というふうにも思ったんですけど。
1:45:48	それって一緒くたにできるもんなんですかね。
1:46:00	ごめんなさい。有限要素法だったら何か一緒くたにしても何とでもなるかなって気はするんですけど、定式化された計算式っていうところで、
1:46:12	共通した形で計算式を示せるのかどうかというのがちょっとよくわからなくて、
1:46:21	とすもともとと言いたかったのはやることがわかるように分類の名前してねということ要件の1次構造設備でわかるとは、今の話を踏まえてもわかりません。
1:46:37	コサクれず、とりあえずカミデさんに1回戻します。すいません。
1:46:42	はい、上出です。私は一応中身としてはそういうものが、うん。入ってるんだなあと思いつつ、まとめるんだったら、やり終わると思っているので、
1:46:56	そういう、こういう場合こういう場合っていうんで場合分けて書くのかなと想像してたところですが、原燃はどこまでイメージできてます。

1:47:20	規制庁カミデと、もっと言うと定式化で、冷却塔みたいなものはないから、FEMのところの場合分けみたいな感じなのかなと思ってましたけど、
1:47:31	何か該当がないのでちょっと不安になってきました。
1:47:44	コサクですその意味だと、定式化された計算式と有限要素法を用いた評価というところ、同じ名前前で分類を分ける必要もない。
1:47:56	ですよ。
1:48:08	星野です。おっしゃっていただいた通り分類としては分ける必要はないのかなと思います。
1:48:21	はい。補足です。それで言うと、の許容力のところがー
1:48:27	用いる式によって違ったん。この定式化と有限要素っていうのは何でしょう。一番上の※1でしたっけ。
1:48:35	いうところ。
1:48:36	と相関関係にあるよってということにも、その場合はなるんですけど、
1:48:43	そもそも言うところの※3が許容力です出してますけど、評価方法なんじゃないかって気もしてきちゃったりもしますが、
1:48:53	どうなんですかね。
1:48:59	日本原燃星野です。おっしゃっていただいた通りで、耐圧部があるかないかとか、そういった意味でも評価の内容が異なっているということになります。
1:49:13	はい。そこでそうするとですね、今3ポツ6で言ってますけど、3ポツ後からして違ってきませんか。
1:49:23	日本原燃星野です。はい。おっしゃっていただいた通りです。
1:49:32	はい。古作です。それで言うとう先ほど上出が言ったように、これをさらに、
1:49:40	具体的に書き下していった時に本当に書けるかと。
1:49:43	いったところの検討がまだ不十分なのかなという気がしますので、
1:49:48	作業をやってみてってことなのかなという気もします。上出さんすいません。また、
1:49:55	終わらただけで申し訳ない。
1:49:58	はい、カミデです。私が今日の話聞いてたときに思ったのは、この3ポツの中で、累計ななんて考えずに普通に書いちゃえばいいんじゃないの。
1:50:11	ていう感じがして、ちゃんとこういう場合はこうしますこういう場合はこうしますっていうと、それぞれ差分が分かれてる。
1:50:19	ですよ。

1:50:20	そうすると、こういうふうに流形をしますっていう説明。そうすると、申請書上でしなくても、自然等真ん中の方に移れるんじゃないかとも思いました。
1:50:35	一方で、今言ったように、先ほど石川さんに分類って言いましたけど、3ポツを書く上で、
1:50:45	主語を分けて書かないといけないと。
1:50:48	いうことであれば、3ポツの中でもある程度類型を考えて、一つはやはり
1:50:56	FMと定式化っていうところですよそこモデルとこれも主語分けて書けるし、設計を地震力っていう意味でも分けて書けますね固有値のところもプログラム使うか手計算かだけですけど分けて書けるし、
1:51:12	3ポツ4は多分一緒かもしれないですけど入力の仕方とかって言っちゃう場合って、家C3ポツ後でも主語分けて書けるその二つぐらい分類していけば
1:51:23	仕事として書けるんだで後のところは
1:51:27	学校だったり容器類だったりっていうのもう
1:51:32	3ポツ1の考え方をちゃんと場合分けして書いていけば、真ん中に普通にいけるんじゃないかなっていう気もしましたけど、
1:51:43	今の話を聞いて、日本原電、
1:51:46	どんな感じですか、大分混乱しましたか。
1:51:51	日本原燃星野です。
1:51:53	ここ、混乱はしておりますが言っていた内容は、ある程度理解できると思いますので、社内の耐震対応者で記載の項を、
1:52:07	体裁を子所立てというか、記載の内容を適正化したいなと思います。
1:52:16	日本イシハラでございますイメージは、もともと考えたイメージ通りなので、はい。話をしながら作り上げます。
1:52:28	はい。規制庁カミデです。とりあえず私の方は、
1:52:33	以上というか、じゃあそれを踏まえて、どうしようかっていう話ですが、
1:52:39	材料構造と何か同じフェーズに至ったような気もしますが、どうしますか。
1:52:46	はい。日本原燃石原でございます。はい、そうですね、完全に材料構造と、フェーズがあっけまして一歩リードしてたつもりだったんですけど全然リードできてなかったんで、
1:52:57	さん、水曜日結構いろいろ入ってますけど優先順位を考えながら、へ同じ、先ほどの流れでいけないと、多分、

1:53:11	実際に乗り遅れて地域って感じがするので、はい。先ほど代行と同じようなタイミングで資料の提出も含めてやらせていただけるように、社内で調整します。以上です。
1:53:27	はい、規制庁科別わかりました。私の方からは以上です。
1:53:35	古作です。今ので在庫を耐震はわかったんですけど、その他どうするっていうのもさっき何か最後に言いますって言ったような気がするんですけど。
1:53:46	それってまた別にあるってことですか。
1:53:51	はい。日本原燃の重松別資料で、また画面教示恐縮ですけども共有させていただきながら、スケジュール感のお話をさせていただければと思っていました。
1:54:02	はい。
1:54:05	耐震を閉じても、
1:54:08	次のスケジュールの話に移ってもよろしいのでしょうか。
1:54:12	規制庁がここは誰かいます。大丈夫ですか。
1:54:15	はい、じゃあ、進めてください。
1:54:20	はい。では、また画面共有になりますが、類型化の進め方、
1:54:27	工程図じゃないほうパワポのほうを開いてもらっていいですか。
1:54:41	結構です。
1:54:48	はい。
1:54:52	1ページ目お願いします。
1:54:54	はい。
1:54:56	在庫、耐震在庫等、それ以外の外部衝撃を代表とする他の構造評価なんかを、評価も含むのですね。
1:55:06	これちょっと分けて考えていきますといったところを1ページ目にまとめてございます。
1:55:12	中身はここに書いてある通りでして、耐震とか在庫っていうのは計算書どうまとめていくかというその工夫の余地が非常に大きくて、そのまとめ方、
1:55:23	は、そのまんま評価方針だったり設計方針、どちらかというとおしりのまとめかた。
1:55:29	の工夫によって、上流側の方針も結構影響を受けてしまうということでこれ第1回の申請の範囲で早々にやっつけなきゃいけないという認識でございます。一方、
1:55:39	二つ目の外傷ですけども、こちらは1ポツで出てくる登場人物に比べると圧倒的に機器数が少ないますところ、
1:55:50	二、三十というようなそういうレベルでございますし、またそれらの設備に対して評価をする観点というのも、これも非常に明確であって、

1:56:00	2ポツの二つ目のレ点に書いてある通りですね、もう設計方針の骨格というのは、第1回の申請審査の中で、ほぼほぼ固まっているということで、
1:56:11	1×のようにですね計算書のまとめ方によって、上流であるはずの設計方針とかが揺らぐということがほぼほぼない条文というふうに認識してございます。
1:56:21	ですので、1ポツはもう補正までにしっかり整えて出したい。2ポツは、今設計方針はしっかり固まっていますので第2回申請に向けてですね、計算書の構成とか、
1:56:34	記載内容を整理していきたいというのが上流の考え方としてございます。
1:56:39	2ページ目お願いします。
1:56:42	耐震も外傷のやり方は同じですけども、どうやって進めるんだといったところを模式的に表したのがこの絵になります。左側が設計方針から、上流からですね体系的に整理していこうというアプローチになります。
1:56:59	右側が、設計がすでに終わっているという実態を踏まえて設計実績からですね、網羅的にその設計の実態というのを調査して、
1:57:11	①で作っている、大きな設計方針の傘ですね、大きな傘の中にきちんと収まっている値をおさまっているよねというようなところを確認していくこの二つの流れで、
1:57:23	作業を進めています。イメージとしては①の作業が、しっかり確たるものになってますというお墨付きを与えるのが②の作業という認識でございます。
1:57:34	それを、①の作業と②のエビデンスをもとにですね、①-2と左下の方に書いてますけれども、
1:57:43	すいません、ちょっとは、
1:57:45	話を端折ってしまいました①-1というのが、まさに今、耐震で説明させていただいたようなですね、外外会館の整理ですね。
1:57:55	外観の整理を、①-1という作業でやらせていただいて、その見通しが立った時点で、各条00の資料に反映する、①-2になります。
1:58:07	ということを目論んでおります。都丸さんというような形で一つちょっと
1:58:12	分けて記載してますけども、丸さん自体もですね、100条00の資料の位置付けだと思っておりまして、別紙の中でも、個別計算書の記載内容まで踏み込んだ、代表設備はどういう計算書の見てくれなのか。

1:58:28	代表設備以外は、どういう表現の仕方がいいんだといったようなところまで踏み込んだ整理を③というような形で整理していきたいと考えてございます。
1:58:37	で、今ここに振っている、番号がそのまま工程図の方にリンクしております、すみません、エクセルの工程図の方開いていただきたいんですけど、
1:58:51	少し拡大をしていただけますか。
1:58:59	もうちょい拡大。
1:59:04	ああ。
1:59:06	はい。上二つは耐震と材料構造で、もともとちょっと目論んでいたスケジュールから変更になっております先ほどまでの、
1:59:16	ヒアリングでやりとりさせていただいた通りで、16にもう1回、①-1の資料について、16にもう1回やらせていただいて、その内容を反映したものを18日に、
1:59:29	①-2 というような形で提出させていただくというようなスケジュール感で進めさせていただければと考えております。
1:59:39	上から三つ目以降にですね外傷関係在庫と耐震以外で類型化が必要なものの。
1:59:47	がこれですべてですと言ったら怒られてしましましてSAとかももちろん内在しておるわけですがけれども、こちらについては、設計方針繰り返しになりますけど設計方針の外観が定まっていると。
2:00:01	ということですので、竜巻を例にお話をさせていただきますと、
2:00:09	18、
2:00:11	今週18日にヒアリングをして、その内容を、24日、これも田尻さんからリクエストができれば23より前という話ありましたので、
2:00:21	20人あたりに提出させていただいて、
2:00:26	理事会申請につなげる類型化の骨格というのを固めると。そのあとですね、右側に赤い四角と三角置いてます。28日から順次ですね、先ほど耐震で、
2:00:41	お示したような資料を、同じようなものをですね、竜巻火山といった他の事象に対しても同様の資料を準備させていただいて、
2:00:51	それで方向性の確認を
2:00:55	取らせていただいて、その内容を反映した、00資料のこれも第2回の申請の内容含めますので、00へ反映するといっても外観、
2:01:05	概略といったような内容、別紙4が概略といった内容になろうかと思えますけれども、
2:01:12	11月の28の週に提出させていただくというような流れで作業を考えておりました。

2:01:19	以上です。
2:01:21	それは同じです。それでちょっと理解しきれなかったところがあるんですけど、とりあえず今このページを開いてるんでなんですけど、例えば竜巻において10ばっちいの間に14資料提出で、
2:01:33	そのあと201-1を踏まえたもう1回資料提出が12月の2日ぐらいになって9日にヒアリングってのがいるんですけど、
2:01:41	補正ってどこですか。
2:01:43	補正には関係ない00。
2:01:45	これ何でしたっけこのちょっと丸1-2ってやつはそれでちょっとかけられてないのかもしれないけど自分が、
2:01:51	すいません①-2というのが2種類登場してきてあってちょっと紛らわしいんですけども、18日にヒアリングして24日に資格を行ってますこれが第1回、
2:02:04	申請の範囲についての各条00の内容になります。
2:02:09	で、右側の2日に、また改めて00資料を提出しますとなっている部分、こちらについては、今ほど耐震で議論させていただいたような内容を、竜巻に対して、紹介させていただいてですね。
2:02:26	第2回のラインを少し先取りしたような形での、
2:02:30	各条00終了の出し直し、ですので第1回の補正の内容と切り離したもののとして、チェックさせていただけたらなと思っております。すいません。
2:02:40	それやっちゃ駄目なやつだよ。
2:02:44	ゼロ制度に手つけちゃ駄目だよ。
2:02:47	おまけにそれ出しちゃったらもう、
2:02:49	それで申請の前に出すってことでしょ。
2:02:52	いって、駄目なやつじゃね。
2:02:55	①-1の資料の中で全体の枠組みの説明さっきの耐震じゃないけどああいうのを2回に向けてやっていくがあるような気がしますけど、00に落としちゃったらやりたいためなんじゃないかなって気がします。
2:03:09	はい。すいません。欲張り過ぎたというか
2:03:13	コサクです。00と言わないで、01-12、幾つか例としてつく分には全然構いません。
2:03:24	そうですね。そのやり方がいいと思いました。はい。①-1の資料に、別紙4のエッセンスをちょっと紛れ込ますというような形になろうかと思えます。
2:03:36	古作です。一方で、本当に2回で大丈夫ですかっていうのが不安なんです。
2:03:43	かつ、

2:03:44	12月の審査会合でわあ、全条文についてどう考えるのか。
2:03:51	代表って何聞きになるのかとかかっていう話は聞かせてもらうんだと思ってるんですけど。
2:03:59	それぐらいの精度で作業ができるのでしょうか。
2:04:05	はい。日本原燃の瀬川でございます。耐震、先ほどの耐震の資料では、累計の数というか、まとまりというのがどういうまとまりになるのか。
2:04:20	それに基づいての申請書間の記載の書き分けがどうなるのかといった部分まで、
2:04:27	しか明らかにできませんのでそこからもう一步踏み込んだ代表じゃあ、その上でどうするかといった議論はもうワンステップあろうかなというふうには思っております。
2:04:39	そういう意味ですすね今、
2:04:41	1-1の資料1回のヒアリングで終わらしてというような形で線引いちゃっていますけれども、
2:04:49	ここももう1回、2回、
2:04:52	といった形でですね9日ぐらいに、代表の選び方も含めてですね、整理をさせていただけると。
2:05:01	次回の会合で、
2:05:03	累計がどうだと、代表設備数がどうだといったところに繋がるかなというふうには思っております。以上です。
2:05:10	はい、補足ですそれで言うと、今、①の一井の阿藤①-2D資料提示ヒアリングってなってますけど、
2:05:22	ヒアリングだとか面談かはさておいて、
2:05:27	別紙4形で、抜粋にしても別紙ような形でというよりは、
2:05:34	別紙4の作業は進めつつもう結局
2:05:40	別紙1の中で、評価項目なり評価方法なりが整理がついていて、
2:05:47	別紙3になるんですかね。
2:05:49	いうところ添付書類でどういう項目を書かなきゃいけないのかが明確になるので、
2:05:55	代表、
2:05:58	設備の選定で使ってる、縦軸に設備横軸に説明項目みたいな、
2:06:06	表を作るっていうことができる環境にはあって、
2:06:11	それを①の位置にぶら下げるような形でつければ、
2:06:16	我々の求めている。
2:06:19	内容の把握っていうのができるような気がするんですけど。
2:06:23	マトリックスは作るつもりは現状あるんですか。



2:06:29	はい。日本原燃の瀬川さんのマトリックスは、作るつもりがございません。
2:06:34	いや在庫も、できれば本当であれば、次回の提出の、
2:06:40	消費者にはそのマトリックスをつけたいぐらいだったんですけどもちょっと16はしんどいかもしれませんが絶対つけなきゃいけないものだというふうに思っております。以上です。
2:06:51	コサクですそれはあれですか①-1の中でつけるつもりでいたけどまだ入ってないっていう、そういうことですか。
2:06:59	はい。日本原燃の世良です。ちょっと①-1というものにちょっと私の思いがいろいろ入っちゃってるんですけど、①-1と言ってるものが、今日議論させてもらった耐震のようなああいう外観図、
2:07:13	外観を示したものをまず示しつつ、それをさらに情報集約、グレードアップしてですね最終的には個別補足説明資料として、類型化に関する個別補足説明資料として、
2:07:26	仕上げたいという思いはありました。以上です。
2:07:31	古作です。瀬川さんの今の最後の言葉からすると、マトリックスは入るものということのような気がするんですけど。
2:07:39	前半部分でいうと入らないっていうことで、
2:07:43	あれですかね最初はまだ、
2:07:46	前半部分だけで、
2:07:48	前半部分の議論ができれば拡充していきますっていう作業方針と思えばいいんですか。
2:07:54	はい。日本原電の世良です前半でまとまりの整理が、きっちり認識合わせできないうちにですね、横軸を語っても、多分、
2:08:06	意味をなさないかなと思っておりましたので、マトリックスは最終盤かなと思っておりました。以上です。
2:08:13	はい。補足です。
2:08:15	結局わあ、今日の在庫なり、耐震ていう関係でいうと、
2:08:24	別紙3なんですよ。
2:08:27	別紙3で項目出した等、妥当じゃない別紙3の中で項目出しはされていて、かつ、その構成があって最終的に目次の形まで、
2:08:38	持ってってるはずで、
2:08:40	それをそのポンチ絵でやったにすぎないような気がするんですけど。
2:08:45	何か認識違ってますかね。
2:08:49	日本の生活ご認識の通りだと思ってます私もですね。はい。
2:08:55	はい。補足です。それでいうとやっぱり、別紙4の方を細かくやらなくてもその議論はできると。

2:09:03	ということで、
2:09:05	①-1の中で追加で入ってくると。
2:09:09	ということで話をしつつ、並行してです、作業は並行してでしょうけど、
2:09:16	S4、
2:09:17	ところで具体化が進んでいて、
2:09:21	順々に資料提示でやっぱ確認をしていくと。
2:09:25	ということなのかなと理解をしました。
2:09:36	日本原燃の瀬川ですそういう意味でですね1-1の作業ステップという のも、ちょっと教官実の資料では、
2:09:46	お示しできておりませんのでちょっと口頭で認識はあったつもりではお りますけれども、そ、今のやりとりを踏まえた形です工程もちょっ ともう1回、
2:09:59	次、実作業というか、もうちょっと細かな作業ステップに応じた工程を もう1回ちょっと聞きたいと思います。
2:10:07	はい。補足です。今の①の1無痛ステップということの感じなんですけ ど、
2:10:14	それをどうステップを踏むのか、て次の
2:10:20	開校は12月20日でしたかね。
2:10:30	現状のこの線の引き方、今の拡大だと、右側見れませんが、
2:10:36	間に合うのかなあと疑問に思うようなスペースで、現状だと01-2D、 別紙4を一色みたいな感じだから、
2:10:46	それは厳しいよねとは思いますが、そこまでやんなくても、
2:10:50	議論できるだけの整理は聞けると思う。
2:10:53	ているので、その点で改めてどんな資料提示で、
2:10:59	話をしていくのかと。
2:11:01	ということで、またスケジュールを見せてもらったら、
2:11:05	いいかなというふうに思ってます。今ずらしていただきましたけど、
2:11:10	14日までに全部一色出せるんで、
2:11:13	20日間に合いますっていう意味d吸わないんですよね。
2:11:19	日本への生活そういう、
2:11:22	つまりは全くないかと言ったらその嘘になってしまいますけれども、い ずれにしてもこの別紙4という形ではなくて、市野一井の形式です ね、少しフットワーク軽くご相談に乗っていただけると。
2:11:38	やはり20日が何とか間に合わせることができるかなというふうには思 っております。以上です。
2:11:46	はい、古作です。わかりました。

2:11:51	あと、ちょっと数今口頭でいろいろ話したんですけど、①の1っていうのが大分そのイメージが揺れ動いちゃったんですけどさっきのその図を見せてもらっていいですか。
2:12:12	はい。ええ。
2:12:14	藤。
2:12:18	類型化の検討、そういうことか。
2:12:23	この図を見た時の①-1とそのあと説明を受けたところとの意思は大分違ったんですけど、意図は理解をしました。で、②との関係なんですけど、
2:12:37	確かに別紙4を仕上げてくわあ、申請書を作り込むのに等しくて実態を表したようなものに手作り込まないとねっていう意味では、
2:12:49	そこの矢印で入っていかなきゃいけない。
2:12:53	ところなんですけど、
2:12:55	その上で、③で瀬川さんが説明されていたことがちょっと腑に落ちなくて、前からも私が申し上げているのは、
2:13:08	代表設備っていうのは説明書では、添付書類説明書ではあんまり関係がなくて、代表で何かあったらなきゃいけない添付書類の場所って、
2:13:18	私としてはないと思っているのです。全体が包含できるような、計算方法だったり何なりを示して行って、
2:13:29	類型ごとに計算結果を示すフォーマットを作り、淡々と前期、そのシートを埋めると。
2:13:37	いう先ほど耐震で話をしたようなことであって、
2:13:41	その上で代表設備で何をしなきゃいけないかっていうと、その添付書類だとう方針。
2:13:48	計算結果の示し方た結果というのが分かれているので、それを一気通貫に、或いはその根拠となるエビデンスということを、
2:13:59	一通りの流れの中で説明いただくと。
2:14:03	いう補足説明資料の作り込みをどこまでやりますかと。
2:14:07	いうことだと思ってて別紙5の世界だと思ってたんですけど、
2:14:14	認識は、
2:14:17	合ってます、先ほど説明があっけなさそうだったんで不安なんですけど、
2:14:21	ちょっと日本日本原燃の生活ここ最近ずっとコサクさんが、店舗はすべて代表は、補足説明で説明するのが代表だと。
2:14:35	言っているのは重々承知していて、ちょっといい機会なので、私の勉強不足というか理解不足を訂正する意味でも、

2:14:47	ご教示いただきたいんですけども、今まさに耐震の方で、共通的な方針だとか、評価の考え方だとかそういったものは全部、上流側、方針説明書の方に預けてしまって、
2:15:02	計算書の方は、インプットになるそういう要目表だとか、あと解析体系図みたいなのも必要なんですかね、とあと評価結果をまとめるというような整理をしていこうという話は認識しているところです。
2:15:16	その先生方の解析体系図っていうのは、計算方針の方だと思います。
2:15:23	結果ではいけないと思います。解析モデル、解析モデルは結果のほうには書かない。いやのモデルと体系図は別。
2:15:33	失礼しました。ケースのフローみたいな話のことを私はイメージしますが。失礼しましたおっしゃる通りです解析モデル、ちょっと言葉、言葉が足らなかったです解析モデル。
2:15:45	ですね。書き方のパッケージングの仕方っていうのは、代表設備であろうとも、その他の設備であろうとも書き方は変わらない。
2:15:57	という認識を持っておりましたこの認識ってのは正しいですか。
2:16:02	青木さん記載される書類の深さの違いはないという認識だったんですけども、
2:16:08	はい、補足です先ほどのマンな耐震のやつの真ん中のところで整理をした。
2:16:15	ところで、右側のところは各機器、どのシートを使うかは別ですけど、埋めていくってことだと思ってますので、す。今瀬川さんに言われたのはそういうことだろうなというのは思い。
2:16:33	はい。日本原燃の瀬川です。そうなんだろうなという思いもありながら一方で、私の中に、従来から凝り固まっていたですね、計算書記載内容への展開っていうこの言葉がそれをそのままにじみ出てるんですけども、
2:16:49	代表設備で選ばれた設備はですね計算書なんていうんでしょう従来のようなフルスペックで書いて、代表設備以外は、まさに先ほどの耐震で示されたような右端の本当にインプットの必要最小限の情報と、
2:17:05	結果を載せる、そういう代表以外はそういう簡略化の手続きを踏むと、というような意識がもともと私の中にあってですね、それがこのフローの③というような形でにじみ出ているというのが実態ですただ今のやりとりで、それがそうじゃないってのはしっかり
2:17:23	認識できましたのでしっかり是正いたします。以上です。
2:17:27	はい、古作です。何でかっていうと、そうしてしまうと、結局代表とそれ以外で、違いが本当はないのかっていうのをまた説明を受けなきゃいけないんですけど。
2:17:41	それを添付書類じゃなくて補足でいい理由にならないんですよ。

2:17:46	結局それでいい理由を添付書類に書けよってなっちゃうと余計手間がかかっちゃうので、先ほど耐震で言ったように全体を包含をする、更新
2:17:56	設計方針計算方針というのをまとめてもらって、その妥当性を説明するという形で、補足説明をつけてもらうと。
2:18:06	いう体系でないと、書類の位置付けがおかしくなっちゃうということなんですっていうので今日理解していただいたところで作業を進めてください。
2:18:16	そうするとですね補足説明資料をまずこの計算、設計方針計算方針の中で、妥当性を説明するような補足説明があり、
2:18:29	計算結果を説明するといったところで、代表機器があって、何でそれが代表なのかという説明をする、補足説明資料がつきと。
2:18:40	いうことで、
2:18:43	一連のものを説明する代表機器に対して、部分的に代表では説明しきれない枝葉があるので、他の設備でその枝葉の部分の説明する。
2:18:56	また例示があつてと。
2:18:59	いうことなのでそれは何でかみたいところで或いはその例示だけで済むのかっていったところでいや他のものはこの例に含まれますと。
2:19:08	というようなことの説明をするというので、概略は先ほどせ、お話をしたマトリックスの中に入れてはくるんですけど、
2:19:19	横軸の一つ一つの項目でそういったことを説明をする、補足説明がつくのかなというイメージでいます。
2:19:28	ここまで何となく理解できました。
2:19:31	はい。
2:19:33	ここまでの認識合っております。はい。以上です。
2:19:39	はい。そういったところ計算書の方補足っていうところが、第1回だ等、飛来物防護ネットとか、
2:19:50	その中での被覆の話だとかというので幾つかついてますけど、あまり体系的でなくなし崩し的に作ってきたようなところも、
2:20:02	あつてですね、今後この類型の中でどういうふうな構成になるのかというのを早く補足説明資料のリストというところに、
2:20:12	仕上げていって、認識をより合わせていけたらなど。
2:20:16	いうふうに思いますので、先ほど
2:20:20	使用について例示でもいいですよと、いうようなこと言いましたけど、別紙5も何らか提示いただいた方がいいかなと。
2:20:29	代表の話をするのであれば、別紙5もあつた方がいいなというふうに思っています。
2:20:38	はい。日本原燃の瀬川です承知いたしました。
2:21:01	古作です。意見他ないようであれば、結局進め方の

2:21:08	ところに戻るといふか、
2:21:11	あれですけどそこはあれ、またちょっと考えなきやいけないところもあると思うんですけどいつぐらいにご連絡いただけるような、
2:21:19	形でしょうか。
2:21:22	はい。日本原燃の嵯峨です16日という一つキーワードが今日出ておりますので、もうちょっと早く。でも明日ちょっと会合ですからね。
2:21:33	はい。
2:21:35	部落の午前中で、
2:21:37	提示できればなと思います。もうもうちょっと早く間に合えばですね。いや、うん。ちょっと辛いな。やっぱ会合があるから、私書けました。小阪です。
2:21:49	在庫なり、耐震なリーガー16午前に出して午後ヒアリングっていうことですので、今日と同じように、全体まとめて、
2:21:59	議論できるように進めましょう。
2:22:04	はい。ありがとうございます。
2:22:12	規制庁清水です他規制庁側から。
2:22:15	あと何かございますでしょうか。
2:22:23	全体を通して原燃側の特によろしいでしょうか。
2:22:30	はい。関連ナカハマです。意見は特にございません。ありがとうございます。
2:22:36	それではこれでヒアリングを終了しますので録音を停止します。